

Iwami Art Museum

令和5  
[2023]  
年度

# 年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2023- March 2024

## 目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	14
その他の展覧会	26
ミュージアム	27
教育普及活動	29
新聞・雑誌への寄稿	32
ボランティア	33
各種割引	34
所蔵作品一覧	38
新収蔵作品一覧	58
所蔵作品貸出実績	63
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	64
収支概要	65
島根県芸術文化センター条例	66
島根県芸術文化センター条例施行規則	71
施設概要	78
運営組織体制	81
利用案内	82

### 島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐくまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

### 活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

### 島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

### 島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

## 展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	令和5年4月22日～6月19日
	展示室A・D	没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち	令和5年7月8日～8月28日
	展示室A・C・D	建築家・内藤廣／ BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い	令和5年9月16日～12月4日
	展示室D	石見特別版 永田コレクションの全貌公開 〈一章〉北斎―「春朗期」・「宗理期」編	令和5年12月23日～令和6年2月12日
特別展	展示室A・B	追悼 澄川喜一展	令和5年12月15日～令和6年2月12日
コレクション展	展示室A	ドラマのある絵	令和5年4月7日～5月15日
		象る絵	令和5年5月17日～6月26日
		雲谷派	令和6年2月14日～3月18日
		日本美術と詩歌	令和6年2月14日～5月6日
	展示室B	ファッションプレートにみる100年前のファッション	令和5年4月7日～5月29日
		版画アラカルト	令和5年5月31日～7月17日
		水彩画アラカルト	令和5年7月19日～9月4日
		1960-70年代のファッション	令和5年9月6日～10月23日
		マスキュリン／フェミニン	令和5年10月25日～12月11日
		森英恵	令和6年2月14日～4月8日
	展示室C	レペルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ	令和5年4月8日～6月26日
		石見の現代作家たち	令和5年6月28日～9月4日
		モダンガール・モダンライフ	令和5年12月13日～令和6年1月29日
風景画を旅する		令和6年1月31日～3月11日	
その他の展覧会	展示室D	全島根小中学校図画作品展益田展	令和6年2月23日～2月25日
		第56回島根県総合美術展(県展)移動展	令和6年2月29日～3月3日
		第39回益田市美術展	令和6年3月14日～3月17日

## 企画展 イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

会 期：令和5年4月22日(土)～6月19日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月2日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金

\*小中高生の学校利用は入場無料

\*障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社、日本海テレビ

特別協力：Iittala

協 力：NPO法人出雲フィンランド協会、おおなんフィンランド協会

後 援：フィンランド大使館、芸術文化とふれあう協議会

## 内 容

フィンランドを代表するライフスタイルブランド、イッタラの、日本では初となる大規模展覧会。アルヴァ・アアルトやカイ・フランクらフィンランドデザインの発展を牽引した建築家やデザイナーとともに歩んできたイッタラは、美しさと機能性をすべての人へ提供するという思想のもと製品を送り出しつづけており、今なお世界中で、愛されつづけている。

本展はフィンランド・デザイン・ミュージアムで2021年に開催された、イッタラ創立140周年記念展を再構成し、そこにイッタラと日本との関係に焦点を当てた章を加えた内容。イッタラの歩みを象徴する20世紀半ばのクラシックデザインからモダンデザインのガラスを中心に、陶器や磁器、映像やインスタレーションを交えた約450点の作品や資料を展覧し、その技術と哲学、デザインの美学に迫った。

## 新聞、雑誌掲載

『さんいんキラリ』No.54 3月31日 展覧会広告

山陰中央新報4月21日 展覧会告知記事

山陰中央新報4月22日 展覧会告知記事

中国新聞4月23日 展覧会開幕記事

朝日新聞4月23日 展覧会開幕記事

山陰中央新報4月26日 展覧会開幕記事

毎日新聞5月18日 展覧会紹介記事

朝日新聞6月7日 関連プログラム取材記事

中国新聞6月16日 入場者一万人セレモニー取材記事

朝日新聞6月16日 入場者一万人セレモニー取材記事

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子どものための鑑賞ガイド：15cm角6ページ

先行告知ツール：10cm角カード3種

(デザイン：すべて田辺智子デザイン室)



内覧会



Grantow・マルシェ2023 中庭広場



Grantow・マルシェ2023 オーロラ投影



Grantow・マルシェ2023 モルック会場

## 関連事業

## Grantow・マルシェ2023

「フィンランドの食・文化・エコ」をテーマに開催し、フィンランドの文化を体験できる企画を実施。

日 時：5月3日(水・祝)10:00～15:00

会 場：全館

来 館 者：4,615名／観覧者：865名

## Grantow teaガーデン「色茶(いろちゃ)」

カラフルなハーブティーをイッタラのガラスに注ぎ提供した。

日 時：6月4日(日)10:30～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名

## ギャラリートーク

日 時：4月22日(土)、5月3日(水・祝)、28日(日)、6月18日(日)いずれも14:00～

会 場：展示室D、A

参加者計：138名



## 企画展 没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち

会 期：令和5年7月8日(土)～8月28日(月)

前期：7月8日～7月31日、後期：8月2日～8月28日

休 館 日：毎週火曜日(8月15日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\*( )内は20名以上の団体料金

\*小中高生の学校利用は入場無料

\*障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

特別協力：国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、田原市博物館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

## 内 容

幕末から明治初めにかけて活躍した津和野出身の文人画家、山本栞谷(1811～73)。本展は栞谷の没後150年の記念し、その初期から晩年までの画業を約70点の作品と資料により紹介した。あわせて、江戸時代の津和野藩で活躍した11名にのぼる絵師たちの作品も展示した。

山本栞谷は津和野に生まれた後、津和野藩家老の多胡逸齋に従った。その後、逸齋の仲介により渡辺華山・椿椿山に学んだ後、江戸を拠点に諸国をめぐって各地の文化人と交流し、数々の作品を遺した。一方、津和野藩より藩の絵師を命じられ、藩の御殿の障壁画制作や、藩主・亀井茲監から明治天皇へ献上された《艱民図》(皇居三の丸尚蔵館蔵)の制作など、藩の御事にも携わった。さらに、明治6年(1873)にはウィーン万国博覧会にも出品した。本展を通し、栞谷の知られざる側面の数々が明らかとなった。

また、江戸時代の津和野藩の絵師である岡野洞山美高(1770～1856)、大島松溪(1758～1846)、三浦紫畹(1773～1856)、斎川芳畹(1797～1885)の作品も紹介することで、これまで広く知られることのなかった絵師たちに光を当てた。

## 新聞、雑誌掲載

『芸術新潮』12月号11月25日 展覧会広告

『美術の窓』12月号12月20日 展覧会広告

『さんいんキラリ』No.54 3月31日 展覧会広告

山陰中央新報6月26日 展覧会紹介記事

『美術の窓』7月号7月20日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報7月8日 展覧会開幕記事

中国新聞7月8日 展覧会開幕記事

山陰中央新報7月12日 角野 広海 寄稿

毎日新聞7月25日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月7日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報8月8日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報8月9日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報8月10日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報8月15日 関連プログラム取材記事

山陰中央新報8月24日 関連プログラム取材記事



開幕記念講演会



美術講座

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子どものための鑑賞ガイド：縦210×横210mm 3つ折り

展覧会図録：A4版176ページ

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

## 関連事業

## 開幕記念講演会

「江戸の文人画家 山本栞谷一渡辺華山・椿椿山の画風を受け継いだ  
「津和野藩絵師」一」

講 師：増山 禎之(元田原市博物館館長)

日 時：7月8日(土)14:00～15:30

会 場：講義室

参加者：22名

## 美術講座「津和野藩の絵画史」

講 師：角野 広海(島根県立石見美術館主任学芸員)

日 時：8月12日(土)14:00～15:30

会 場：講義室

参加者：24名

## グラントワ tea ガーデン「つわ乃茶」

日 時：8月13日(日)10:30～

会 場：美術館ロビー

参加者：65人

## ギャラリートーク

日 時：7月22日(土)、30日(日)、8月26日(土)いずれも14:00～

会 場：展示室D、A

参加者：合計73名

## 同時期開催

## 企画展「斎川芳畹～下種村が生んだ絵師～」

日 時：令和5年7月8日(土)～8月28日(月)

会 場：益田市立雪舟の郷記念館





ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 建築家・内藤廣／BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い

会 期：令和5年9月16日(土)～12月4日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし4月30日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,200(950)円、企画・コレクション展セット1,350(1,050)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／1,000円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金

\*小中高生の学校利用は入場無料

\*障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社

協 賛：大畑建設株式会社、高橋建設株式会社、MASCOS INC.、MASUDA

KOHBOH、北陽電気工事株式会社、山代電気工業株式会社、島根県建築

士事務所協会、島根県管工事業協会

特別協力：内藤廣建築設計事務所

後 援：芸術文化とふれあう協議会

## 内 容

日本を代表する建築家であり、島根県芸術文化センター「グラントワ」の設計者である内藤廣の過去最大規模の個展。「Built (ビルト＝建設された建物)とUnbuilt (アンビルト＝実現しなかった建物)」をテーマとし、初公開資料もまじえ、建築としては世に現れていない部分もふくめた内藤の設計と思考の軌跡をたどった。作品解説は、内藤の心の裡に住む赤鬼(情熱、奔放などの象徴)と青鬼(冷静、堅実などの象徴)の対話として、全て内藤が書き下ろした。

### 【展示構成】

#### (1) Built 内藤廣の建築[展示室A]

グラントワをはじめとする内藤の代表作を、模型や図面、写真等によって紹介。

#### (2) BuiltとUnbuiltをつなぐもの[展示前室]

初期の代表作、「海の博物館」の特徴である架構をモチーフにしたインスタレーション。実際にある建築を元にして架空の造形を生み出したアート作品。

#### (3) 内藤廣の言葉[展示室C]

内藤の著作から拾い集めた言葉の数々を、赤鬼の発言を赤い文字で、青鬼の発言を青い文字で、壁いっぱい記した「言葉の壁」と、時刻や天候によって色味を変える建物外壁の石州瓦の美しさを収めた映像「瓦の壁」(制作：益田工房)によるインスタレーション。天井が高く自然光が取り入れられる「展示室C」の空間をいかした展示となった。

#### (4) Unbuilt 内藤廣の思考[展示室D]

様々な事情により実現しなかった建築や、架空のプロジェクトを図面や模型によって紹介。卒業設計から近年の落選したコンペシートなどを紐解き、内藤の思考の変遷を時代を追って紹介した。あわせて、「On Going」として進行中の最新プロジェクトも紹介。また、内藤が若い頃から毎年つけていた手帖や、これまでの様々な著書、作品集なども展示した。

#### (5) 建築紹介パネル

会期中、回廊や大ホールホワイエ、美術館ロビーに、建築のみどころを紹介するパネルを設置。写真、図面とあわせ、内藤廣建築設計事務所による解説を掲載した。

## 新聞、雑誌掲載

ファッションプレス(WEB掲載)5月8日 記者発表記事

中国新聞5月16日 記者発表記事

山陰中央新報5月16日 記者発表記事

美術展ナビ(WEB掲載)5月16日 記者発表記事

BUNGANET(WEB掲載)5月16日 記者発表記事

読売新聞6月26日 展覧会告知記事

『山口トライアングル』vol.479 8月28日 展覧会広告

新美術新聞9月1日 展覧会広告

中国新聞9月16日 展覧会開幕記事

中国新聞9月17日 関連プログラム取材記事

中国新聞9月20日 関連プログラム取材記事



会場



建築紹介パネル



内藤廣による建築案内



建築家・内藤廣×MASCOS HOTEL

中国新聞9月29日 展覧会紹介記事  
 中国新聞10月8日 川西 由里 寄稿  
 中国新聞10月9日 川西 由里 寄稿  
 山陰中央新報10月11日 関連プログラム取材記事  
 中国新聞10月11日 川西 由里 寄稿  
 中国新聞10月11日 展覧会関連記事  
 中国新聞10月12日 川西 由里 寄稿  
 中国新聞10月13日 川西 由里 寄稿  
 毎日新聞10月16日 展覧会紹介記事  
 『Casa BRUTUS.』11月号11月9日 展覧会紹介記事  
 『WTS by LIBERE』No.3 10月10日 展覧会紹介記事  
 『音楽の友』11月号11月1日 展覧会紹介記事  
 朝日新聞11月2日 展覧会紹介記事  
 『紫明』第53号10月20日 川西 由里 寄稿  
 読売新聞11月21日 展覧会紹介記事  
 朝日新聞11月21日 展覧会紹介記事  
 朝日新聞11月26日 入場者一万人セレモニー取材記事  
 中国新聞11月26日 入場者一万人セレモニー取材記事  
 『音楽の友』12月号12月1日 展覧会関連記事

## 印刷物

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A4  
 関連プログラム まちなか編 チラシ：A4  
 先行告知ツール：はがきサイズ  
 萩・石見空港利用者限定プレゼント：A5クリアファイル  
 (以上のデザイン：すべて野村デザイン制作室)  
 展覧会ガイド／グラントワ建築ガイド：A3表裏(イラスト・デザイン：宮沢 洋史)  
 島根県芸術文化センター 建築案内：210×392ミリ4つ折り観音開き+210×88ミリ挟み込み(執筆・構成：内藤廣建築設計事務所)  
 展覧会図録：B5版384ページ、グラフィック社発行

## 関連事業

## 開幕記念 内藤廣 講演会

講師：内藤 廣(建築家)  
 日時：9月16日(土)14:00～15:30  
 会場：大ホール  
 参加者：539名

## 内藤廣によるグラントワ建築案内

日時：①9月17日(日)14:00～15:00、②10月22日(日)11:00～12:00、  
 ③10月22日(日)14:00～15:00、④11月25日(土)11:00～12:00  
 会場：大ホール、美術館ロビー、回廊、中庭  
 参加者：合計292名

## グラントワスタッフによる建築案内

日時：①10月7日(土)14:00～15:00、②11月12日(日)14:00～15:00  
 会場：大ホール、美術館ロビー、回廊、中庭  
 参加者：合計47名

## グラントワ tea ガーデン「瓦茶」

内藤廣氏の好みにあわせて益田市のコーヒー店「栗栗珈琲」が焙煎したコーヒーを、石州瓦と同じ素材で焼いた「瓦カップ」(浜田市・亀谷窯業)でふるまった。コーヒーが飲めない方には、「カラケツメイ」で作られた「ざら茶」(津和野町・上領茶舗)を提供した。

日時：5月18日(土)11:00～  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：100人

関連プログラム まちなか編

### 建築家・内藤廣×MASCOS HOTEL「建築で街は変わった？」

内藤廣と、「グラントワができたから、このホテルを作ろうと思った」と語るマスコスホテル代表、設計時からグラントワに携わる学芸員の3人による、建築と街の関係についての鼎談。

出演：内藤 廣、洪 昌督(マスコスホテル代表取締役)、川西 由里(当館専門学芸員)

日時：11月25日(土)15:00~16:30

会場：MASCOS BAR & DINING(益田市)

参加者：30名

関連プログラム まちなか編

### 建築家・内藤廣×Shimane Cinema Onozawa

映画「ハーモニー」上映&スペシャルトーク「未来の都市をどう描く?建築×アニメ」

展覧会の「Unbuilt」パートでは、アニメ映画「ハーモニー」のために内藤が提供した、未来の街や乗り物のスケッチを展示した。これに関連して地域の映画館で「ハーモニー」の上映を行った後、内藤氏と当時のスタッフ、プロデューサーによるトークを実施した。

出演：内藤 廣、田中 栄子(STUDIO 4℃プロデューサー)、湯浅 良介(建築家、元・内藤廣建築設計事務所員)、川西 由里(当館専門学芸員)

日時：11月5日(日)映画上映=13:00~15:00/トーク=15:15~16:15

会場：Shimane Cinema Onozawa(益田市)

参加者：80名

### 萩・石見空港30周年記念プレゼント

萩・石見空港を利用して展覧会を観覧した方に、オリジナルクリアファイル(非売品)をプレゼント。

### きんさいデー

開館記念日に行う全館あげでのイベント。美術館を終日無料開放した。

日時：10月8日(日)

美術館入館者：1,455名



## 企画展 石見特別版 永田コレクションの全貌公開〈一章〉 北斎—『春朗期』・『宗理期』編



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 石見特別版 永田コレクションの全貌公開〈一章〉 北斎—『春朗期』・『宗理期』編

会 期：令和5年12月23日(土)～令和6年2月12日(月・振休)

休 館 日：毎週火曜日、12月28日(木)～1月2日(火)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金

\* 小中高生の学校利用は入場無料

\* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、BSS山陰放送

特別協力：島根県立美術館

協 力：津和野町／津和野町教育委員会

後 援：芸術文化とふれあう協議会

## 内 容

島根県津和野町出身の北斎研究者・永田生慈氏(1951-2018)より寄贈された、県外不出の「永田コレクション」より、北斎の「春朗期」・「宗理期」(数え20歳から45歳頃)の作品を公開した。希少な春朗期の肉筆画、宗理期における第一級の摺物群「津和野藩伝来摺物」を含む、約280点の作品・資料を通して、若き日の北斎の研鑽と挑戦の軌跡を紹介した。

本展は令和5年2月から3月に島根県立美術館(松江市)で開催された展覧会を引き継ぎつつ、石見独自の内容と構成を盛り込み、石見特別版として開催した。特に新出の肉筆春画『逢身八契画帖』を初公開したことで、国内外から多くの反響を得た。展示室の最後では『北斎漫画』・『富嶽三十六景』・最晩年の肉筆画など、北斎生涯の代表作も展示することで、より北斎の初期作品の特徴が伝わりやすいよう工夫した。

## 新聞、雑誌掲載

『美術の窓』No.485 2月20日 展覧会広告

山陰中央新報12月10日 島根県立美術館 大森 拓土 寄稿

山陰中央新報12月17日 島根県立美術館 大森 拓土 寄稿

山陰中央新報12月21日 展覧会広告

山陰中央新報12月23日 展覧会開幕記事

中国新聞12月24日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月27日 展覧会広告

山陰中央新報1月14日 島根県立美術館 大森 拓土 寄稿

山陰中央新報1月18日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月21日 島根県立美術館 大森 拓土 寄稿

『地域創造レター』2月号1月25日 展覧会広告

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り

鑑賞ガイド：1825×130mm 2つ折り12ページ

先行告知カード：100×100ミリ5種

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



開幕記念講演会



受贈報告



ワークショップ

#### 関連事業

#### 記念講演会「葛飾北斎 青雲の志」

講師：日野原 健司(太田記念美術館主席学芸員)  
 日時：1月28日(日)14:00~15:30  
 会場：講義室  
 参加者：41名

#### 受贈報告

#### 「永田生慈 北斎コレクション—寄贈の経緯と全貌公開に向けて」

講師：大森 拓土(島根県立美術館専門学芸員)  
 日時：1月14日(日)14:00~15:30  
 会場：講義室  
 参加者：30名

#### ワークショップ「北斎ステンシルで作るハーフ手ぬぐい」

北斎の描いた挿絵を型染めして、オリジナルの手ぬぐいを作成した。

日時：1月13日(土)、14日(日)  
 各日①10:00~ ②11:00~ ③13:30~ ④14:30~ ⑤15:30~  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：39名

#### グラントワteaガーデン

##### ①「福茶」

新春のお祝いに、梅昆布茶に金粉を浮かべたお茶を提供した。

日時：1月3日(水)10:30~  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：87名

##### ②「復活茶」

病に倒れた北斎が自らの快復を願って作ったゆずの葉に似せた「ゆず茶」を提供した。

日時：2月10日(水)10:30~  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：100名

#### みるみると北斎をみる

対話型鑑賞を研究・普及するグループ「みるみるの会」のメンバーと、対話しながら北斎の作品を鑑賞する企画を実施した。

日時：1月13日(土)、21日(日)各日14:00~  
 会場：講義室  
 参加者：合計21名

#### ギャラリートーク

日時：1月8日(月・祝)、20日(土)、2月3日(土)、11日(日)いずれも14:00~  
 会場：展示室D  
 参加者：合計100名

#### 前期も後期も見てもらおう!

前期と後期の両方を観覧した方へ北斎グッズをプレゼントした。

#### 北斎福引

「グラントワ共通カード」、「ミュージアムパスポート」会員を対象に、空くじなしで北斎グッズが当たる福引を実施した。

日時：新春福引き1月3日~15日、節分福引き2月3日~12日

## 特別展

## 展示室A・B 追悼 澄川喜一展

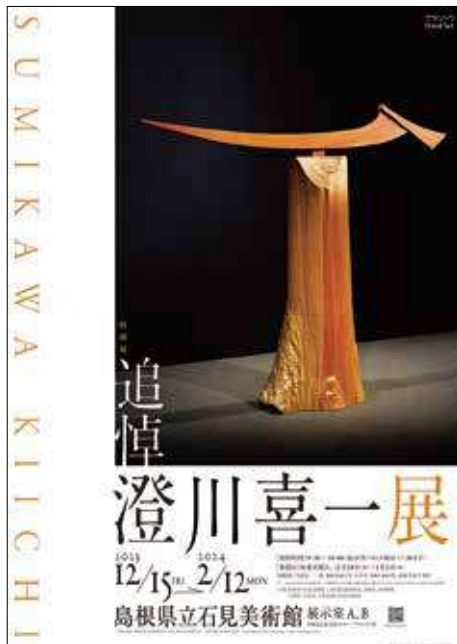
会 期：令和5年12月15日(金)～令和6年2月12日(月)

内 容：令和5年4月に逝去した、島根県吉賀町出身の彫刻家・澄川喜一(令和4年まで島根県芸術文化センター長・島根県立石見美術館長)の追悼展。これまで当館に寄贈された彫刻を中心に、澄川が生涯一貫して追いつけた「そのあるかたち」をテーマにした作品と資料を展示し、創作の軌跡を振り返った。開催にあたり、澄川とゆかりの深い益田市、津和野町、吉賀町、岩国市が主催に参加、ともに哀悼と遺憾の意を込めての実施となった。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	そのあるかたち	不詳(初期)	樺	島根県立石見美術館
2	澄川 喜一	そのとそぎのあるかたち 83	1983年	樺、松	島根県立石見美術館
3	澄川 喜一	そのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	島根県立石見美術館
4	澄川 喜一	翔	2000年	樺	島根県立石見美術館
5	澄川 喜一	そのあるかたち 99	1999年	樺	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	そのあるかたち	2012年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そのあるかたち	2021年	樺	島根県立石見美術館
8	澄川 喜一	そのあるかたち	2021年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	そのあるかたち	2015年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	そのあるかたち C	2012年	神代樺	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そのあるかたち	1999年	樺	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そのあるかたちC	2019年	樺、カラントス	島根県立石見美術館
13	澄川 喜一	木霊Ⅲ	2007年	檜、樺	島根県立石見美術館
14	澄川 喜一	そのあるかたち	2012年	神代樺、杉	島根県立石見美術館
15	澄川 喜一	そのあるかたち	2021年	白檀	島根県立石見美術館
16	澄川 喜一	そのあるかたち	2020年	白檀	島根県立石見美術館
17		彫刻の制作道具と印章			島根県立石見美術館
18	澄川 喜一	木立ち	2002年	樺	島根県立石見美術館
19	澄川 喜一	風	2007年	樺	島根県立石見美術館
20	澄川 喜一	風	2019年	ステンレス	島根県立石見美術館
21	澄川 喜一	華	2015年	ステンレス	島根県立石見美術館
22	澄川 喜一	おろち	2021年	ステンレス	島根県立石見美術館
23	澄川 喜一	そのあるかたち	1995年	黒御影石、金箔	島根県立石見美術館
24	澄川 喜一	そのあるかたち	2019年	樺、カラントス	島根県立石見美術館
25	澄川 喜一	そのあるかたち	2007年	樺、杉	島根県立石見美術館
26	澄川 喜一	そのあるかたち	2019年	槐	島根県立石見美術館
27	澄川 喜一	翼 3	1999年	樺、樟	島根県立石見美術館
28	澄川 喜一	兜	2021年	樺	島根県立石見美術館
29	澄川 喜一	トライアングル	2020年	樺	島根県立石見美術館
30	澄川 喜一	そのあるかたち	2020年	樺	島根県立石見美術館
31	澄川 喜一	赤富士	2020年	木	島根県立石見美術館
32		アトリエに掛けていた師・平櫛田中の書		墨、紙	島根県立石見美術館
33	澄川 喜一	栗		水彩、紙	島根県立石見美術館
34	澄川 喜一	鳥取からの鯛	2000年	水彩、紙	島根県立石見美術館
35	澄川 喜一	とうもろこし		水彩、紙	島根県立石見美術館
36	澄川 喜一	たけのこ		水彩、紙	島根県立石見美術館





ポスター

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

招待券：6.5×18.0cm

(デザイン：野村デザイン制作室)

## 新聞、雑誌掲載

読売新聞12月15日 展覧会紹介記事

中国新聞12月16日 展覧会紹介記事

新美術新聞1月1日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月6日 展覧会紹介記事

『美術の窓』No.485 2月20日 左近充 直美 寄稿

## 展示室A ドラマのある絵

会 期：令和5年4月7日(金)～5月15日(月)

内 容：物語を題材とした絵のほか、描かれた人物や動物の背景にドラマが感じられる作品を展示。作品解説では、見る人が想像力を働かせるための着眼点を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画	島根県立石見美術館
2	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	竹内 栖鳳	藤花薜花群犬図	明治31年(1898)	紙本著色、六曲一双	島根県立石見美術館
4	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本著色、六曲一双	島根県立石見美術館
5	筆者不詳	遊女柳橋扇面流図屏風	江戸時代前期(17世紀)	紙本著色、六曲一隻	島根県立石見美術館
6	曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
8	松本 楓湖	八岐大蛇図	明治42年(1909)	絹本著色	島根県立石見美術館
9	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末～大正時代	絹本著色	島根県立石見美術館
10	鍋木 清方	花見幕	昭和10年代(1925～35)	絹本著色	島根県立石見美術館
11	池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本著色	島根県立石見美術館
12	島崎 柳塙	納涼	明治33年(1900)頃	絹本著色	島根県立石見美術館
13	松浦 舞雪	なが夜のすさび	大正時代末～昭和時代初期	絹本着色	島根県立石見美術館
14	北野 恒富	狂女	大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
15	不二木 阿古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本著色	島根県立石見美術館
16	寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色	島根県立石見美術館

## 展示室A 象(かたど)る絵

会 期：令和5年5月17日(水)～6月26日(月)

内 容：「象る」とは、「ものの形を写し取る」「ある形に似せてつくる」、または「事物を形象化する、象徴する」という意味をもつ。「象る」という営みは、人がなにかを表現することと密接に結びついているといえよう。この展示では、ものの形を細密かつ具象的に描いた絵画や、対象を抽象化した形状でとらえた絵画などを、「人」「もの」「風景」に分けて紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本著色	島根県立石見美術館
2	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	杉浦 非水	『非水百花譜』あかつめぐさ 赤爪草	大正9～11年(1920～22)	木版、紙	島根県立石見美術館
7	杉浦 非水	『非水百花譜』ひなげし 雛嬰粟	大正9～11年(1920～22)	木版、紙	島根県立石見美術館
8	杉浦 非水	『非水百花譜』はなしやうぶ 花菖蒲	大正9～11年(1920～22)	木版、紙	島根県立石見美術館
9	殿敷 侃	不詳(クシ 長柄)	不詳	アクアチント、紙	島根県立石見美術館
10	殿敷 侃	不詳(クシ)	不詳	アクアチント、紙	島根県立石見美術館
11	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
12	満谷 国四郎	風景	大正時代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	寺戸 恒晴	大山・中海の朝	昭和63年(1988)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本著色	島根県立石見美術館
16	今尾 景年	花鳥図屏風	明治～大正時代	絹本著色	島根県立石見美術館
17	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保2年(1831)	絹本着色	島根県立石見美術館
18	中林 竹溪	秋草群雀図	19世紀後半	絹本着色	島根県立石見美術館

## 展示室A 雲谷派

会 期：令和5年2月14日(水)～3月18(月)

内 容：桃山時代から江戸時代にかけての約300年間、室町時代の画僧・雪舟等楊に倣い、萩藩毛利家の御用絵師として活躍した絵の流派、雲谷派に関わる所蔵品を紹介した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	山水人物花鳥図押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本墨画淡彩、6曲1双	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本墨画淡彩、6曲1隻	島根県立石見美術館
3	雲谷派	四季山水図屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本墨画淡彩、8曲1双	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代前期	紙本墨画淡彩、6曲1双	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館
6	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館
7	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館

## 展示室A 日本美術と詩歌

会 期：令和6年3月20日(水)～5月6(月・祝)

内 容：日本では、平安時代にはすでに日本にまつわる絵を見て和歌を詠み、和歌に詠まれた情趣を絵に描くなど、和歌と絵をともに楽しむ文化が育まれていた。一方、中国からの影響により、漢詩や漢文が絵の中に書かれ、絵とともに鑑賞されることも日常茶飯事であった。また、柿本人麻呂公をはじめとする歌人たちや中国の有名な漢詩人たちの姿が、絵に描かれて崇拜されてきた。本展では当館の所蔵品より、詩歌をはじめ文学と関わりの深い作品を紹介した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	長谷川派	武蔵野図屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本金地着色、6曲1双	島根県立石見美術館
2	作者不詳	人麻呂図屏風	江戸時代前期～中期	紙本着色、6曲1隻	島根県立石見美術館
3	円山 応挙	柿本人麿像	江戸時代中期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館
4	近衛 信尹	渡唐天神図	江戸時代前期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館
5	啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画、1幅	島根県立石見美術館
6	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末～大正時代	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
7	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
8	西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	昭和3年(1928)	紙本着色、6曲1双	島根県立石見美術館
9	狩野 栄信(画)松平 不昧(賛)	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画、1幅	島根県立石見美術館
10	谷 文晁(画)桜井 梅室(書)	滝図	文政11年(1828)	絹本着色、双幅	島根県立石見美術館
11	小野 湖山	鄭絵余意	明治3年(1870)	紙本木版、1冊	島根県立石見美術館

## 展示室B ファッションプレートにみる100年前のファッション

会 期：令和5年4月7日(金)～5月29日(月)

内 容：今からおよそ100年前、1914年に人類史上初の世界大戦がはじまり、この大戦に、参戦国は国家総力戦としてのぞんだ。男性が戦地に赴いたため、女性は銃後を守る働き手となり、結果女性の社会進出が進んだ。女性の社会的立場の変化にとまない、その装いも大きく変わっていった。この展覧会では、ヨーロッパの100年前のファッションを、雑誌に描かれたイラスト(ファッションプレート)から日常着やスポーツウェア、パーティーでの装いを紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.2	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2		『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』第7巻	1922年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
3	ベニート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《グレイハウンドを持つ女性》ビールのテラー	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《秋のシンフォニー》ウォルトの散歩服とコート	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	フェルナン・シメオン	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《スミングのレッスン》ペーシングコスチュームとショール	1921年	木版、紙	島根県立石見美術館
6	フェルナン・シメオン	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《スザンヌと太平洋》ロディエによる山形模様のある防水ウール地の海辺のリゾートウェア	1922年	木版、紙	島根県立石見美術館
7	ピエール・プリソー	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《猿を見てみましょう》 ジャンヌ・ランパンのテラーと女の子のドレス	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ピエール・プリソー	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《キャブシーヌ(輪おどり)をおどろうよ》 ジャンヌ・ランパンの夏服と子供服	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ピエール・ムーグル	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《五感(香り)》カミーユ・ロジェの帽子	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ピエール・ムーグル	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《五感(味覚)》カミーユ・ロジェの帽子	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《午前2時》ウォルトのマント	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 《紅》ウォルトのイヴニング・ドレス	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《木》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《ゴルフ》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《水浴》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《春の帽子》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《そして、サティを聴きながら》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	ロベール・ボンフィス	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《兵隊の日》(1920)	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《若い母親》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
20	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《ピアノとボーカル》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
21	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《ダンス》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
22	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《女僕》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
23	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《レースで》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
24	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《狩獵》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
25	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《飛行士》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
26	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《インテリア》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
27	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《セット》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
28	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《襲撃》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
29	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《骨董品》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
30	フェルナン・シメオン	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 《スクリーン》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館

## 展示室B 版画アラカルト

会 期：令和5年5月31日(水)～7月17日(月)

内 容：近現代版画のうち、「木版画」「銅版画」「シルクスクリーン」「リトグラフ」のそれぞれの分野から、個性的な版画を紹介。単品で好きな料理を注文する「アラカルト」を選ぶように、版画の豊富な表現を楽しみながら、好みの一点を見つけてもらうというコンセプトで展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	石井 柏亭	木場	大正3年(1914)	木版、紙	島根県立石見美術館
2	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8年(1919)	木版、紙	島根県立石見美術館
3	平塚 運一	裸婦百態「芝生」	平成7年(1995)	木版、紙	島根県立石見美術館
4	笹島 喜平	不動明王no.90	昭和58年(1983)	木版、紙	島根県立石見美術館
5	永瀬 義郎	祈り	昭和31年(1956)	木版、紙(紺紙金刷)	島根県立石見美術館
6	永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50年(1975)	木版、紙	島根県立石見美術館
7	小林 敬生	蘇生の刻—早春—	昭和63年(1988)	木口木版、紙	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
10	有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	銅版、紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	御神木	1934年	銅版、紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	水	1935年頃	銅版、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	雨その1	1935年頃	銅版、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	銅版、紙	島根県立石見美術館
16	古沢 岩美	裸婦	制作年不詳	銅版、紙	島根県立石見美術館
17	饅頭	鳳凰I	昭和58年(1983)	シルクスクリーン、紙	島根県立石見美術館
18	ビエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
19	アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館

## 展示室B 水彩画アラカルト

会 期：令和5年7月19日(水)～9月4日(月)

内 容：大下藤次郎をはじめとする、明治から昭和の時代に活躍した画家たちの水彩画(一部素描)作品を紹介。「版画アラカルト」展の水彩画バージョン。「アラカルト」を選ぶように、個性豊かな6人の画家たちが描く水彩画作品のなかから、好みの一点を見つけてもらうというコンセプトで展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	紫陽花	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	秋海棠	1907～11年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	夏	1899年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	三宅 克己	伊豆風景	1926～45年	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	丸山 晚霞	百合	1914年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭、パステル、紙	島根県立石見美術館

## 展示室B 1960-70年代のファッション

会 期：令和5年9月6日(水)～10月23日(月)

内 容：1960年代後半の若者による既存の価値観に異議を唱えるカウンターカルチャーの盛り上がりを受けて、ファッションも若者の志向を大きく取り込むようになる。ここでは、1960-70年代に若者を中心に流行したミニスカートや裾のひろがったパンツなどのスタイルを紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	作者不詳	ペーパー・ドレス 「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スूप・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布のワンピースドレス	島根県立石見美術館
2	ザンドラ・ローズ	カフタン風ワンピース・ドレス	1969年	シルクシフォンに黒、黄、緑で円形、チェーンステッチ柄、波形をプリント フード付き	島根県立石見美術館
3	アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピースドレス 絹サテン地でパイピング	島根県立石見美術館
4	アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半 ～1970年	オレンジ色のビニール スタンドカラー 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルロゴ・マーク、ヒップ・ボーンのミニ・スカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)	島根県立石見美術館
5	アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピースドレス 裏地は白い絹	島根県立石見美術館
6	エミリオ・プッチ	ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様をプリントしたシースドレス(細身のシルエットのドレス)	島根県立石見美術館
7	ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ	島根県立石見美術館
8	ベス・レヴィン	サンダル 「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革 プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション	島根県立石見美術館
9	ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント	島根県立石見美術館
10	伊東 茂平	ドレス	1967年	グレーのウール、襟と袖口はピンク色のウールのワンピースドレス	島根県立石見美術館
11	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	プリントしたナイロンジャージーのワンピースドレス、バンロン加工、ベルト付き	島根県立石見美術館
12	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	プリントしたナイロンジャージーのワンピースドレス、バンロン加工、ベルト付き	島根県立石見美術館
13	発行：ファッション ハウス森英恵	『森英恵流行通信』創刊号	1966年	冊子	島根県立石見美術館
14	発行：ファッション ハウス森英恵	『森英恵流行通信』第2号	1966年	冊子	島根県立石見美術館
15	発行：ファッション ハウス森英恵	『森英恵流行通信』第26号	1967年	冊子	島根県立石見美術館
16	発行：ファッション ハウス森英恵	『森英恵流行通信』第29号	1967年	冊子	島根県立石見美術館
17	発行：ファッション ハウス森英恵	『森英恵流行通信』第34号	1967年	冊子	島根県立石見美術館
18	川村みづえ	『イエイエ』ポスター原画	1967年	シルクスクリーン、紙	島根県立石見美術館
19	出版：平凡出版 (現マガジンハウス)	『平凡バンチ』1巻28号	1963年	冊子	島根県立石見美術館
20	出版：平凡出版 (現マガジンハウス)	『平凡バンチ女性版』	1969年	冊子	島根県立石見美術館
21	出版：平凡出版 (現マガジンハウス)	『アンアン』創刊号	1970年	冊子	島根県立石見美術館
22	発行：光文社	『JJ』創刊号	1975年	冊子	島根県立石見美術館
23	出版：平凡出版 (現マガジンハウス)	『ポパイ』創刊号	1976年	冊子	島根県立石見美術館



## 展示室B マスキュリン／フェミニン

会 期：令和5年10月25日(水)～12月11日(月)

内 容：性の自認や表現の多様性について議論されることが多くなった今日、性差がデザインやドレスコードなどと強く結びついて変遷してきた服飾文化において、改めて男らしさ、女らしさについて考えてみようとした企画。

出品リスト  
マスキュリン

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	イブ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ	島根県立石見美術館
2	バーバラ・フラニック／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット ヒップ・ボーンのフレアーパンツ	島根県立石見美術館
3	ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンウールの ボタン付きベルト	島根県立石見美術館
4	アンドレ・クレージュ	ジャンプ・スーツ	1970年	青と白のウール マンダリン・カラー茶革のトリミング、折り返しのあるカフス	島根県立石見美術館
5	作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンウールの ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート	島根県立石見美術館

## フェミニン

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラージャケットに飾りポケット 巻きスカート	島根県立石見美術館
7	クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍	島根県立石見美術館
8	クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドール・ドレス」サーモン・ピンクの絹のスリッパドレス	島根県立石見美術館
9	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き	島根県立石見美術館
10	マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング	島根県立石見美術館
11	ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス 「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス革のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金でプリント	島根県立石見美術館
参考	テリー・ジョーンズ編集	『デザイナー・モノグラフィス [レイ・カワクボ]』	2012年発行	左：川久保玲／コム・デ・ギャルソン 1982年秋冬 写真：ピーター・リンドバーグ 中・右：川久保玲／コム・デ・ギャルソン 1997年春夏 写真：パオロ・ロベルシ	島根県立石見美術館

## 展示室B 森英恵

会 期：令和6年2月14日(水)～4月8日(月)

内 容：日本での成功をもとに、1965年からアメリカへ活動の範囲を広げた森英恵。本展では森のアメリカ時代の活動に注目し、1960年代半ばから70年代半ばにかけて発表された衣装、森が執筆した原稿、コレクションの様子を伝える雑誌記事などを展示し、当時の活躍ぶりを紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	不詳	ニューヨークのショー会場で	1970年代半ば頃 (2020年プリント)	デジタルプリント	島根県立石見美術館
2	森 英恵	ドレス	1965～67年頃	青地に牡丹色と水色の牡丹柄が染められたドレス 絹シフォンと絹の羽二重を重ねている ロングスリーブ、ハイネック	個人蔵
3	森 英恵	ドレス	1960年代後半 ～70年頃	梅、瑞雲、熨斗などを組み合わせた図柄のワンピースドレス 絹シフォンと羽二重を重ねている ラウンドネック、ロングスリーブ 共布のベルト付き	個人蔵
4	森 英恵	ドレス	1960年代後半 ～70年頃	紺地にグレーの松、水色の竹、ピンクの梅を配した柄のワンピースドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 濃紺ベルベットのベルト付き	個人蔵
5	森 英恵	ドレス	1960年代後半 ～70年頃	菊や格子を組み合わせた日本的な図柄を紺や水色など寒色で表した図柄のワンピースドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 紺色ベルベットのベルト付き	個人蔵
6	森 英恵	ドレス	1970年代前半	ピンク地に秋草柄を配した図案のロングドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 緑のベルベットのベルト付き	個人蔵
7	森 英恵	ドレス	1970年代	桃色に菖蒲や百合、菊、撫子などを染めたロングドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 黒のベルベットのベルト付き	個人蔵
8	森 英恵	「私の一日」 『森英恵流行通信』14号	1966年	印刷、紙	島根県立石見美術館
9	森 英恵	「私の一日」 『森英恵流行通信』17号	1966年	印刷、紙	島根県立石見美術館
10	ファッションハウス 森 英恵	「特集・森英恵 夏のコレクション」 『森英恵流行通信』49号	1968年	印刷、紙	島根県立石見美術館
11	ファッションハウス 森 英恵	「海外メモ特報」 『森英恵流行通信』53号	1968年	印刷、紙	島根県立石見美術館
12	ファッションハウス 森 英恵	「Hanae Mori BAN-LON」 『森英恵流行通信』68号	1969年	印刷、紙	島根県立石見美術館
13	ファッションハウス 森 英恵	「HANAЕ MORI NEW-YORK COLLECTION」 『森英恵流行通信』72号	1969年	印刷、紙	島根県立石見美術館
14	コンテナスト・ パブリケーションズ	『VOGUE』11月1日号	1966年	印刷、紙	島根県立石見美術館
15	コンテナスト・ パブリケーションズ	『VOGUE』10月1日号	1967年	印刷、紙	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報2月22日 展覧会紹介記事

朝日新聞3月12日 展覧会紹介記事

## 展示室C レベルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ

会 期：令和5年4月8日(水)～6月26日(月)

内 容：1928～29年にフランスで出版された『レベルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ』。フランスのモダンデザインが表現された室内装飾を、色鮮やかなボショワールで見せる同書、全五冊を特集展示した。

## 出品リスト

## vol.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	エティエンヌ・コールマン	Pl.10 食堂、アンサンブル	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2	エティエンヌ・コールマン	Pl.11 食堂、コーナー暖炉	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	エティエンヌ・コールマン	Pl.12 食堂、家具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	エティエンヌ・コールマン	Pl.13 食堂、家具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	エティエンヌ・コールマン	Pl.15 食堂、照明器具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	エティエンヌ・コールマン	Pl.17 オフィス、家具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	エティエンヌ・コールマン	Pl.16 オフィス、アンサンブルと家具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	エティエンヌ・コールマン	Pl.18 調理場	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	フランシス・ジュールダン	Pl.19 居間	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	フランシス・ジュールダン	Pl.20 居間	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	フランシス・ジュールダン	Pl.21 居間、アンサンブル	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	フランシス・ジュールダン	Pl.22 居間、テーブル	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	フランシス・ジュールダン	Pl.23 居間、サイドボード	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	フランシス・ジュールダン	Pl.24 居間、椅子	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	フランシス・ジュールダン	Pl.25 居間、照明器具	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	フランシス・ジュールダン	Pl.26 小さな喫煙室、アンサンブル	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	フランシス・ジュールダン	Pl.27 小さな喫煙室	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	フランシス・ジュールダン	Pl.37 食器類(陶磁器)	1928年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

## vol.2

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	アンドレ・リュルサ	Pl.1 オフィス	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2	モーリス・マテ	Pl.7 工房、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	モーリス・マテ	Pl.8 工房、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	モーリス・マテ	Pl.9 工房、家具	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	モーリス・マテ	Pl.10 工房、家具	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	モーリス・マテ	Pl.11 工房、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	モーリス・マテ	Pl.13 工房、照明器具	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ジャン・シャルル・モロー	Pl.14 オフィス・図書室	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ジャン・シャルル・モロー	Pl.15 オフィス・図書室、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ジャン・シャルル・モロー	Pl.16 オフィス・図書室、チェスト	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	ジャン・シャルル・モロー	Pl.17 自習室	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	シャルロット・ベリアン	Pl.18 労働と運動 1運動部屋 2食堂 3仕事部屋 4シャワー 5ベッド 6・7テラス	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	シャルロット・ベリアン	Pl.20 仕事とスポーツ、ベッド、ジム、日光浴室	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	シャルロット・ベリアン	Pl.22 労働と運動、椅子	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	ロゼ・ベティナ・アドラー	Pl.37(左) バインダー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	ジャック・アドネット	Pl.37(右) バインダー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	ピエール・エミール・ルグラン	Pl.38 バインダー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	ピエール・エミール・ルグラン	Pl.39 バインダー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19	ピエール・エミール・ルグラン	Pl.40 バインダー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

## vol.3

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジャック・アドネット	Pl.1 子ども部屋、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2	ジャック・アドネット	Pl.2 子ども部屋、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	ジャック・アドネット	Pl.3 子ども部屋、細部	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ジャック・アドネット	Pl.5 子ども部屋	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	ジャック・アドネット	Pl.9 子ども部屋、タペストリー	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	ノエミ・スコルニク	Pl.27 子ども部屋	1929年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
7	ノエミ・スコルニク	PI.28 二人の小さな女の子のための部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	ノエミ・スコルニク	PI.29 託児所	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
9	ノエミ・スコルニク	PI.30 子ども部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
10	ノエミ・スコルニク	PI.31 男の子のための部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
11	ロベール・マレ＝ステヴァン	PI.32 小さな女の子のための部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
12	ノエミ・スコルニク	PI.33 小さな女の子のための部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
13	ノエミ・スコルニク	PI.34 学習室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
14	ノエミ・スコルニク	PI.36 装飾パネル フランスの歌謡曲「天地開闢の動物」	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
15	ロベール・マレ＝ステヴァン	PI.38 学習室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
16	ロベール・マレ＝ステヴァン	PI.39 学習室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
17	ロベール・マレ＝ステヴァン	PI.40 トレーニングルーム	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館

## vol.4

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.3 女性用の部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.6 浴室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
3	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.7 浴室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
4	エティエンヌ・コールマン	PI.9 男性の部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
5	エティエンヌ・コールマン	PI.11 男性の部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
6	エティエンヌ・コールマン	PI.12 男性の部屋、細部	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
7	エティエンヌ・コールマン	PI.13 男性の部屋、細部	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	エティエンヌ・コールマン	PI.15 男性の部屋、家具	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
9	エティエンヌ・コールマン	PI.16 男性の部屋、鏡と照明器具	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
10	エティエンヌ・コールマン	PI.17 男性の部屋、仕事用家具	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
11	エティエンヌ・コールマン	PI.18 男性用運動施設	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
12	エティエンヌ・コールマン	PI.19 浴室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
13	エティエンヌ・コールマン	PI.20 シャワー付き浴室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
14	ロベール・マレ＝ステヴァン	PI.22 二人部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
15	ジャン・シャルル・モロー	PI.23 部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
16	ジャック・エミール・リューマン	PI.25 浴室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
17	ノエミ・スコルニク	PI.29 少女のための部屋 (植物学が学べる設備のある)	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
18	ルナ・ソニョー	PI.33 部屋、仕事部屋	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館

## vol.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ピエール・シャロー	PI.1 仕事用客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
2	ピエール・シャロー	PI.2 仕事用客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
3	ピエール・シャロー	PI.4 仕事用客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
4	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.14 喫煙室	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
5	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.16 客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
6	フランシス・ジュールダン	PI.17 サロン、居間とバー	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
7	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.18 客間とテラス	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	ガブリエル・ゲヴレキアン	PI.19 冬の庭園と図書館	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
9	アンドレ・リュルサ	PI.22 仕事用客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
10	アンドレ・リュルサ	PI.23 仕事用客間、家具、細部	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
11	アンドレ・リュルサ	PI.24 仕事用客間、家具、細部	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
12	アンドレ・リュルサ	PI.25 仕事用客間、家具、細部	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
13	フランシス・ジュールダン	PI.31 仕事用客間	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
14	ルナ・ソニョー	PI.32 工房	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
15	ルナ・ソニョー	PI.33 工房、家具	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
16	ルナ・ソニョー	PI.34 工房	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
17	ルナ・ソニョー	PI.35 工房、家具	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
18	ルナ・ソニョー	PI.36 工房、細部と椅子	1929年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館

## 展示室C 石見の現代作家たち

会 期：令和5年6月28日(水)～9月4日(月)

内 容：企画展「山本栞谷と津和野藩の絵師たち」で江戸時代の津和野の絵師を紹介したのにあわせ、津和野を含めた石見出身の現代作家を紹介した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中尾 彰	山麓	昭和30年(1955)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	喜多村 知	北国の家(北溟随感)	昭和52年(1977)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	寺戸 恒晴	石見・三隅港	昭和62年(1987)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	澄川 喜一	SHIRUBE	昭和49年(1974)	樟	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	そりのあるかたち05	平成17年(2005)	檜、樺、神代樺	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そりのあるかたち	令和元年(2019)	槐、樺、神代樺	島根県立石見美術館
8	岩本 拓郎	無題	昭和53年(1978)	アクリル、シナベニア・角材	島根県立石見美術館
9	岩本 拓郎	無題	昭和54年(1979)	アクリル、シナベニア・角材	島根県立石見美術館
10	野村 康生	Noctis Labyrinthus (夜の迷宮)	平成29年(2017)	アクリル、シリコン、マーカー、グリッター、 ウレタン・パネル 3点	島根県立石見美術館
11	平川 紀道	habitable zone [TRAPPIST-1]	令和4年(2022)	インクジェットプリント 4点	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	夏	1899年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	三宅 克己	伊豆風景	1926～45年	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	丸山 晚霞	百合	1914年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭、パステル、紙	島根県立石見美術館

### 関連事業

#### 宇宙を翔けるアート

#### 野村康生 リモート・ギャラリートーク

出 演：野村 康生

日 時：令和5年7月1日(土) 14:00～14:45

会 場：展示室C

参加者：30名

### 新聞掲載

読売新聞6月29日 展覧会紹介記事

山陰中央新報6月29日 展覧会紹介記事

中国新聞6月30日 展覧会紹介記事

## 展示室C モダンガール・モダンライフ

会 期：令和5年12月13日(水)～令和6年1月29日(月)

内 容：所蔵作品からモダンガールを描いた絵画を展示。ミュージア「朗読のタベ 森鷗外のクリスマス」(28ページ)の開催にあわせ、クリスマスツリーを描いた作品や、森鷗外がモダンな女性のファッションを描写した文章も紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	榎本 千花俊	揚揚戯	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
2	シャルル・マルタン	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 「素敵なツリー クリスマスの子供の装い」	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 「美しい女性 パキヤンのコートの訪問着」	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・ルバップ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 「ああ!寒い… ポール・ボワレの冬用コート」	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	フランシスコ・ハビエル・ゴゼ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 「クリスマスの準備 レドファンのアフタヌーンドレス」	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	ポール・イリブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・ルバップ	『ポールボワレの作品』	1911年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8		雑誌『アール・グー・ポーテ』	1929年2月、 1929年10月、 1930年1月、 1930年9月、 1933年1月、 1922年3月		島根県立石見美術館
9		雑誌『婦人グラフ』	昭和2(1927)年1月号、 昭和2(1927)年2月号、 昭和3(1928)年1月号、 昭和3(1928)年2月号		島根県立石見美術館
10	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	ポスター「オートバイ・コミオ」	1899年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
11	菊池 華秋	雪晴	昭和13年(1938)	絹本着色	島根県立石見美術館
12	榎本 千花俊	口紅を描く	昭和10年(1935)	絹本着色	島根県立石見美術館
13	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本着色	島根県立石見美術館
14	橋本 明治	荘園	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
15	山田 喜作	真夏の港	昭和6年(1931)	絹本着色	島根県立石見美術館
16	菊池 隆志	室内	昭和9年(1934)	紙本着色	島根県立石見美術館
17	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本着色	島根県立石見美術館
18	広田 多津	ふたり	昭和13年(1938)	紙本着色	島根県立石見美術館

## 関連事業

## MUSEUM×THEATER：ミュージアvol.21

## 「朗読のタベ 森鷗外のクリスマス」

出 演：佐々木 望(声優)、美留町 義雄(大東文化大学教授)、川西 由里(当館専門学芸員)

日 時：令和5年12月23日(土) 15 時開演

会 場：グラントワ大ホール ステージ上

参加者：100名

※詳細は「ミュージア(28ページ)」に記載

## 新聞掲載

山陰中央新報1月20日 展覧会関連記事



## 展示室C 風景画を旅する

会 期：令和6年1月31日(水)～3月11日(月)

内 容：「懐かしきもの」「仄暗(ほのくら)きもの」「汀(みぎわ)のもの」「異郷のもの」の4つのテーマに分けて洋画作品を紹介。実景を描いた風景画だけでなく、画家が目にした「様々な風景」に鑑賞の視点を沿わせながら、一緒に旅をする心持で作品をご覧いただいた。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	野の道	明治27～30年(1894～97)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	山崎 修二	風景(仮題)	昭和16年(1941)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	吉田 博	風景	明治44年～大正9年(1911～1920)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	喜多村 知	滞船	昭和47年(1972)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	寺戸 恒晴	石見・三隅港	昭和62年(1987)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	山崎 修二	港通りの家	平成10年(1998)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	黒田 清輝	ポプラの黄葉(グレーの秋)	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

**全島根小中学校図画作品展益田展**

会 期：令和6年2月23日(金・祝)～2月25日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県造形教育研究会

**第56回島根県総合美術展(県展)移動展**

会 期：令和6年2月29日(木)～3月3日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

**第39回益田市美術展**

会 期：令和6年3月14日(木)～3月17日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：益田市美術展実行委員会



チラシ



「オブジェクト・ラブ・ストーリー」展示



「オブジェクト・ラブ・ストーリー」参加者の様子

## ミュージア

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater：ミュージア」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

令和5年度の事業としては、以下の2事業を実施した。

### MUSEUM×THATER：ミュージアvol.20

#### オブジェクト・ラブ・ストーリー

企画展「建築家・内藤廣」にあわせた企画。劇作家、演出家の山本卓卓が、グラントワの建築を題材として、「モノ=オブジェクト」が語るラブ・ストーリーを書き下ろした。参加者は本（文庫本サイズ）と地図を手に、各所に展示されている言葉を追いながら本と展示とを交互に読み進める。セリフが貼り付けられた壁や窓、コインロッカーや屋外彫刻などがいわば出演者であり、観客が歩き回って物語を体験する回遊型の演劇として仕立てられた作品。

期 間：令和5年10月28日(土)～12月25日(月)

会 場：館内公共スペース

料 金：無料

作・演出：山本卓卓(劇作家)

参加者：1,200名

#### 関連プログラム

##### 範宙遊泳「バナナの花は食べられる」映像上映

日 時：11月3日(金・祝) 13:30開演(上演時間：約3時間)

会 場：小ホール

料 金：無料

概 要：山本卓卓が主宰する演劇集団・範宙遊泳の『バナナの花は食べられる』（第6回岸田國士賞受賞）の上演記録映像を上映。

##### 山本卓卓トーク「オブジェクト・ラブ・ストーリー」を語る

日 時：11月11日(土) 14:00～15:00

会 場：大ホールホワイエ

料 金：無料



チラシ

MUSEUM×THATER：ミュージシアvol.21

「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」

第1部：「舞姫」とベルリンの森鷗外

第2部：文学と音楽でたのしむクリスマス 鷗外の思い出とヨーロッパの伝統

前年度好評だった森鷗外の朗読会の第2弾。

第1部では鷗外の作品でもよく知られている「舞姫」を、朗読と鷗外研究者の解説によって読み解いた。第2部では鷗外の子もたちの随筆によって森家のクリスマスの様子を紹介。

その後、日本でも親しまれているクリスマスソングと、クリスマスにちなんだ文学作品の朗読をまじえながら、ヨーロッパのクリスマスの歴史をたどった。

日時：令和5年12月23日(土)15時開演

会場：グラントワ大ホール ステージ上

料金：前売1,000円、当日1,500円

出演：佐々木 望(声優)、美留町 義雄(大東文化大学教授)、川西 由里(当館専門学芸員)

参加者：100名



「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」



「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」

## 【講座・講演など】

## おしゃべりアートカフェ

益田市吉田公民館の事業へ出講。

## Ⅰ. 美術館をもっと身近に！「中の人」の話をきいてみよう

日 時：令和5年7月19日(水) 14:00～15:30

講 師：川西 由里

会 場：益田市民学習センター

参加者：5名

## Ⅱ. 石見美術館で美術鑑賞

日 時：令和5年7月28日(金) 14:00～15:00

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見美術館

参加者：5名

## 鑑 賞：企画展とコレクション展、および授業

日 時：令和5年9月28日(木) 10:00～12:00

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館

聴講者：小野中学校3年生14名

## 広島市立大学 非常勤講師委嘱 授業科目名「芸術学研究Ⅱ」

日 時：令和5年11月16日 13:00～16:00

講 師：川西 由里

会 場：広島市立大学

聴講者：博士前期1・2年生

講義：「島根県立石見美術館のファッションに関する活動紹介、  
およびコレクション展〈マスキュリン/フェミニン〉について」

お茶の水女子大学生生活科学部人間生活学科生活文化学講座「服飾文化概論」の授業へ出講。

日 時：令和5年11月18日(土) 13:20～14:50

講 師：廣田 理紗

会 場：お茶の水女子大学本館124号教室

聴講者：人間生活学科1年生30名ほど

## 授業：美術館とオンライン授業 国立新美術館×石見美術館

## 「イヴ・サンローラン 芸術としてのファッションを見てみよう」

国立新美術館と島根県立石見美術館の2館を、ファッションをテーマにwebでつなぎ授業する試み。作品解説を聞きながら、服を美的な対象として考える楽しさ、面白さに触れる機会となることを期待した。

日 時：令和5年11月21日(火) 9:15～10:00

講 師：廣田 理紗

会 場：オンライン(展示室Bから配信)

聴講者：益田市内7校の高学年(豊川小14名、真砂小3名、桂平小8名、匹見小3名、都茂小8名、東仙道小4名)、匹見中5名

## ワークショップ：「自分の服の柄を作ってみよう」

学校からのオーダーに応え、開催中のコレクション展「ラウル・デュフィ」に合わせ、デュフィが描いたテキスタイルデザイン画やテキスタイルを鑑賞したあと、テキスタイルをデザインしてみようというプログラムを組んだ。

日 時：令和5年12月7日(木) 11:00～13:50(休憩含む)

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 講義室

聴講者：安田小学校3年生37名

### ワークショップ：「江戸文化を知る 掛け軸を見てみよう・ 触ってみよう/風呂敷で包んでみよう」

開催中の北斎展にあわせて、授業の一環として開催したワークショップ。学校からのオーダーに応え、江戸時代の暮らしや文化について美術的な観点から体験的に知ることのできるプログラムを組んだ。

日 時：令和6年1月12日(木) 13:50～15:20(休憩含む)  
講 師：角野 広海、廣田 理紗  
会 場：島根県立石見美術館 講義室  
聴講者：東仙道小学校全学年18名

### 授業：対話による美術鑑賞・アートカードを用いた鑑賞

日 時：令和6年1月21日(火) 13:00～  
講 師：廣田 理紗  
会 場：益田小学校  
聴講者：5年生56名

### 【授業受入】

山口県立大学「博物館学内実習Ⅰ」  
日 時：令和6年11月12日(土) 11:00～12:00  
講 師：南目 美輝  
会 場：島根県立石見美術館

### 【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

#### 第1回 講義：「グラントワの概要」と「石見美術館のコレクション(ファッション)」

日 時：令和5年10月4日(水) 14:50～16:20  
講 師：南目 美輝  
会 場：島根県立石見美術館 講義室

#### 第2回 鑑賞：企画展「建築家・内藤廣／ BuiltとUnbuilt」と講義：「地域と美術館」

日 時：令和5年10月25日(水) 14:50～16:20  
講 師：川西 由里  
会 場：島根県立石見美術館 展示室A・C・D、講義室

#### 第3回 講義：「造形とは」

日 時：令和5年10月31日(火) 14:50～16:20  
講 師：左近充 直美  
会 場：島根県立石見高等看護学院

#### 第4回 講義：「石見の仏像」

日 時：令和5年11月28日(火) 14:50～16:20  
講 師：的野 克之  
会 場：島根県立石見高等看護学院

#### 第5回 講義：「石見の文化財」

日 時：令和5年12月6日(水) 14:50～16:20  
講 師：角野 広海  
会 場：島根県立石見高等看護学院

#### 第6回 実習：「対話による鑑賞」

日 時：令和5年12月13日(水) 13:10～15:35(休憩含)  
講 師：廣田 理紗  
会 場：島根県立石見美術館 講義室



**第7回 鑑賞：特別展「追悼・澄川喜一」展**

日 時：令和4年12月20日(水) 13:10～15:35(休憩含)

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見美術館 展示室A・B、講義室

**【博物館実習】**

日 時：令和5年8月19日(月)～8月23日(金)

参加者：静岡文化芸術大学文化政策学部学生(1名)

**【その他】**

美術資料検討委員の委嘱

職務内容：美術資料「郷土島根の美術」の活用上の課題について

検討委員：廣田 理紗

期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

**令和5年度島根県障がい者アート作品展 審査会における審査**

日 時：令和5年12月6日(水) 9:00～15:00

審査員：廣田 理紗

会 場：島根県立美術館ギャラリー

令和5年度 朝日新聞『石見美術館収蔵から 美ありて』連載

7月 1日 的野 克之 澄川喜一〈そのあるかたち〉

9月16日 南目 美輝 作者不詳〈ペーバードレス「スーバードレス」〉

11月 7日 廣田 理紗 クリスチャン・ディオール〈ポール・ガウン〉

3月 6日 的野 克之 斎藤等室〈山水図〉

#### その他寄稿

「日本のアーティスト事典」ART PLAT FORM JAPAN(掲載日：令和5年9月11日)

日本のアートのリサーチポータルby NCAR 原田直次郎(作家解説) 左近充 直美

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

### 【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00~12:00)と午後(13:00~15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

#### 活動記録

- ・コレクション展「石見の現代作家たち」 6月28日~9月4日
- ・「きんさいデー」にて補助業務

### 【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

#### 活動記録

- ・企画展  
「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」関連プログラム  
「グラントワ・マルシェ2023」 5月3日  
「〈ヒンメリ〉を作ってみよう」ワークショップの補助業務

## 各種割引

## 島根県立石見美術館 入館料・割引サービス一覧

※2020年8月20日現在

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

## 提携館

いわみ美術回廊 加盟館

浜田市立石正美術館	左記施設の <b>会員様</b> または <b>ご利用者様</b>	<b>会員証</b> または <b>観覧券の半券</b>	<b>団体割引</b> (ご本人のみ)
浜田市世界こども美術館		<b>観覧券の半券</b>	
益田市立雪舟の郷記念館			
津和野町立安野光雅美術館			
今井美術館			

山口県立美術館	<b>会員様</b> または <b>ご利用者様</b>	<b>会員証</b> または <b>観覧券の半券</b>	<b>団体割引</b> (ご本人のみ)
山口県立萩美術館・浦上記念館			
サントリー美術館	左記施設の <b>会員様</b>	<b>会員証</b>	
DIC川村記念美術館			
植田正治写真美術館			
足立美術館			
尾道市立美術館			
ひろしま美術館			
広島県立美術館			
広島市現代美術館			
愛媛県美術館			
島根県立美術館			
島根県立古代出雲歴史博物館	<b>会員証</b> または <b>割引券</b>		

※2021年4月1日以降は会員様のみ

※2021年4月1日以降は会員証のみ

## 劇場連携

グラントワ(いわみ芸術劇場)	いわみ芸術劇場 主催の <b>有料公演チケット</b> をお持ちの方	いわみ芸術劇場 主催の <b>有料公演チケット</b> ※公演当日のみ有効	<b>団体割引</b> (ご本人のみ)
----------------	---	--	------------------------

## 外国人割引

外国人の方	<b>外国人の方</b>	<b>パスポート(旅券)</b> または <b>在留カード</b>	企画展・コレクションセット券 一般 650円/大学生 400円 小中高生 150円 企画展のみ 一般 500円/大学生 300円 小中高生 無料
-------	--------------	---	---

★ご提示いただく「会員証」は、有効期限内のものに限ります。

石見美術館の入館料が割引となります。

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

### 提携カード／クーポン／パスポート／その他

しまねカード	左記の <b>カード</b> をお持ちの方	<b>カード</b> または <b>WEB画面</b>	<b>団体割引</b> (人数制限なし)	
しまね子育て応援パスポート COCCOLO		<b>カード</b>	<b>団体割引</b> (4名様まで)	
ゆめカード				
SDカード				
山陰中央新報さんさんクラブ				
ちゅーピーカード				
やわらぎカード				
萩ファンカード				
E倶楽部(イーカード)				
JAF				<b>カード</b> または <b>WEB画面</b>
ドゥプレカード				<b>カード</b>
Reloclub		<b>カード</b> または <b>WEBクーポン</b>	<b>団体割引</b> (5名様まで)	
エルフル	<b>カード</b> または <b>WEB画面</b>	<b>団体割引</b> (4名様まで)		
石見ぶらり手形	左記の <b>クーポン</b> または <b>パスポート</b> または <b>チケット</b> など をお持ちの方	<b>入場クーポン</b>	企画展・コレクションセット券 500円 <sup>※1</sup>	
じゃらん		<b>割引クーポン</b>	<b>団体割引</b> (4名様まで)	
雪舟さんパスポート		<b>パスポート</b>	<b>団体割引</b> (ご本人のみ)	
ぶらり中国ドライブパス		申込完了メール(印刷またはWEB画面)	<b>団体割引</b> (5名様まで)	
おいでませパスポート		<b>パスポート</b>	<b>団体割引</b> (4名様まで)	
だんだんチケット		<b>無料招待券</b> <sup>※2</sup>	<b>入館無料</b> (無料招待券 1枚につき1名様)	
ミュージアムガイド(書籍)	左記 <b>書籍</b> をお持ちの方	<b>ミュージアムガイド(書籍)</b>	<b>団体割引</b> (4名様まで)	
美術検定1級アートナビゲーター	左記 <b>資格</b> をお持ちの方	<b>認定証</b>	<b>団体割引</b> (2名様まで)	

### 乗車券・航空券

※1 大学生・小中高生無料／コレクション展は対象外です。  
※2 だんだんチケットに印刷されています。

高速バス 益田⇄大阪／広島	左記の 交通機関 または サービスを <b>ご利用</b> の方	<b>往復乗車券</b>	<b>団体割引</b> (ご本人のみ)
JR益田駅⇄島根県東部(大田市以東)		<b>DWパスポート</b>	
DWパスポート(JR西日本)		<b>1日乗車券</b>	
雪舟ライン		<b>航空券</b> <sup>※3</sup>	
萩・石見空港発着便			

※3 往復・片道のいずれの航空券でも可。

提携館にてグラントワ会員証（共通カードまたはミュージアムパスポート）、石見美術館観覧券（半券）をご提示いただくと、提携館の入館料が割引となります。

提携館名	割引対象	
	グラントワ共通カード ミュージアムパスポート	石見美術館観覧券（半券）
<b>いわみ美術回廊 加盟館</b>		
浜田市世界こども美術館	※当面の間割引休止	
津和野町立安野光雅美術館		
浜田市立石正美術館	○	○
益田市立雪舟の郷記念館	○ （会員ご本人のみ）	○
今井美術館		
山口県立美術館		○ （開催中のもの）
山口県立萩美術館・浦上記念館	○	※2021年4月1日以降はご利用いただけません。
島根県立美術館	○ （会員ご本人のみ）	
サントリー美術館		
DIC川村記念美術館	※当面の間割引休止	
植田正治写真美術館		
足立美術館		
島根県立古代出雲歴史博物館		—
尾道市立美術館		
ひろしま美術館	○ （会員ご本人のみ）	
広島県立美術館		
広島市現代美術館		
愛媛県美術館		

※各施設により割引率や条件等が異なります。詳しくは、それぞれの施設まで直接お問い合わせください。



**【いわみ美術回廊】**

平成14年4月1日いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館

(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
荒木 寛友	李白詩吟図	明治時代～大正時代	絹本着色 一幅	130.0×60.0程度
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
伊藤 素軒	鯉図	1929(昭和4)年	紙本着色 一幅	130.2×42.0
伊藤 素軒	松に鯉図	大正～昭和時代 20世紀前半	絹本着色 一幅	136.0×50.5
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
今尾 景年	雪南天図狗児図	制作年不明	紙本着色 軸	
雲谷派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～92年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鏑木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	あそび	明治末～大正初期頃	絹本着色 軸	108.2×39.4
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞞音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎川 芳畹	墨竹図	1878(明治11)年	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
斎川 芳畹	墨梅図	江戸時代末期～明治時代初期(19世紀)	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周憲	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花舞花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色 軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920~25年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	荘園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代~江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松浦 舞雪	長夜のすさび	大正末~昭和初期頃	絹本着色 軸	132.6×57.6
松林 桂月	菊花双鶏図	1922年	絹本着色、一幅	150.1×42.3
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期~大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
三浦 紫碗	孔雀図	1833(天保3)年	紙本着色 六曲一隻	175.0×350.0程度
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期~桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下兎図	江戸時代後期 19世紀半ば	絹本着色 一幅	127.0×56.7
山本 栞谷	山静日長図	1840(天保11)年	絹本着色 一幅	27.0×23.0
山本 栞谷	遊魚図	1846年	絹本着色、一幅	129.6×57.9
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 栞谷	陶淵明図	1868(明治元)年	紙本着色 一幅	135.6×65.8
山本 栞谷	楓林停車図	1869(明治2)年	絹本着色 一幅	137.0×55.5
山本 栞谷	墨竹図	1869(明治2)年	紙本墨画 一幅	135.9×54.1
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 華山	龍虎図屏風	江戸時代後期 19世紀初め	紙本墨画、六曲一双	各143.5×328.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期~中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

## 油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894~97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
伝 大下 藤次郎	伝大下巳之吉肖像	制作年不詳	油彩、カンヴァス	47.0×35.0
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代~昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	71.5×115.5
喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	111.0×161.0
喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	95.7×144.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925~28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正初期頃	油彩、カンヴァス	25.2×32.8
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	武蔵野風景	1950~60年代	油彩、カンヴァス、額装	33.0×44.5
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
寺戸 恒晴	石見・三隅港	1987年	油彩、カンヴァス、額装	129.0×161.5
寺戸 恒晴	大山・中海の朝	1988年	油彩、カンヴァス、額装	59.0×71.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
東郷 青児	婦人像	1930~35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903~05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900~20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
野村 康生	"Noctis Labyrinthus(夜の迷宮)"No.04、No.08、No.09	2017(平成29)年	アクリル、シリコン、マーカー・グリッター、ウレタン・パネル	(各)159.7×98.7
原田 直次郎	男児肖像	1887~98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908~09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913~25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912~25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912~25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911~20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末~20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920~22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

## 版 画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
鏝 嘸	鳳凰I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
川村 みづえ	ポスター レナウン「イエイエ」	1967年	シルクスクリーン、紙	102.5×72.5
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED:1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED:19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED:8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED:42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜 と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
澄川 喜一	フェニックスの翼A	1982(昭和57)年	紙、シルクスクリーン、額装	65.0×49.9
澄川 喜一	フェニックスの翼B	1982(昭和57)年	紙、シルクスクリーン、額装	65.0×49.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルー ズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892~93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウイーン工房(フレーグ ル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブ レール	マリー・ローランサンの肖 像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブ レール	ビュット・ショーモン公園 風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパーブ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テ キスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサン ドル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴェ・ブランシュ』 のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0



作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ポール・イリーブ	『ポール・ボフレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩獵	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドールジュルドウイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8



作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896～97年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバートン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバートン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903～11年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903～11年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～11年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～11年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～11年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～11年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～11年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～11年頃	水彩、紙	13.1×19.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~11年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~11年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~11年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~11年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907~11年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907~11年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907~11年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907~11年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907~11年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907~11年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907~11年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
喜多村 知	津和野町雪景色(B)	1946年頃	水彩、紙	33.0×48.0
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～29年頃	水彩、紙	15.7×21.7
中尾 彰	美しき津和野 原画(笛)	1976(昭和51)年頃	鉛筆、水彩、額装	23.5×16.0
中尾 彰	美しき津和野 原画(野すみれ)	1976(昭和51)年頃	鉛筆、水彩、額装	20.0×17.3
中尾 彰	青野山	制作年不詳	鉛筆、水彩、額装	24.0×30.0
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～45年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

## 素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて① (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6× 16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて② (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3× 15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③ (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4× 17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~97年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
寺戸 恒晴	石見神楽 蛇頭	1970~80年代	バルテル、紙、額装	31.0×41.0
寺戸 恒晴	出雲 小田	1979年	バルテル、紙、額装	30.5×40.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

## 写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
平川 紀道	TRAPPIST-1(4点)	2022年	インクジェットプリント、額装、4点組	62.0×62.0(各)
松江 泰治	JP-32 01	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 03	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0



作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 06	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 08	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 10	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 11	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 12	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 13	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 14	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 15	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 17	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 18	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 19	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 20	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 21	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 22	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 23	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 24	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 25	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 26	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 27	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 28	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 29	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 30	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 31	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 32	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 33	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 34	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 35	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 36	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 37	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 38	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	IZO 171280	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	IZO 171323	2021年	発色現像方式印画	44.8×56.0
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイロード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州コンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3



作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

## 工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベツ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

## 彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
澄川 喜一	S君	1959年	ブロンズ	33.0×20.0×27.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	裸婦	1958年頃	ブロンズ	46.0×11.0×11.5
澄川 喜一	Kさん	1960年	ブロンズ	36.0×23.0×36.0
澄川 喜一	裸婦	1965年	ブロンズ	31.0×24.0×20.0
澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	146.5×64.0×58.0
澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	御影石、樺、杉	63.0×28.3×15.0
澄川 喜一	無題[スポーツ功労者顕彰記念像]	1978年	ブロンズ	51.0×13.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺、カランタス	127.5×74.5×16.0
澄川 喜一	種	1982年	樺、樟	33.0×23.0×8.5
澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カランタス	60.5×42.0×35.0
澄川 喜一	フェニックスの翼 A	1982年	ブロンズ	165.0×56.0×30.0
澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち 83	1983年	樺、松	240.0×160.0×105.0
澄川 喜一	MASK	1985年	樟	41.0×42.5×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	樺	77.0×87.0×23.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 86	1986年	松、樺、鉄板	300.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち-D	1987年	樺、松、鉄板	233.0×325.0×30.0
澄川 喜一	TO THE SKY C	1992年	ステンレス、黒御影石	230.0×65.0×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち95	1995年	樺	240.0×62.0×57.0
澄川 喜一	お月さま	1995年	樺、チーク	236.0×139.0×35.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1995年	黒御影石、金箔	16.0×70.0×22.0
澄川 喜一	ほしあかり	1995年	黒御影石、金箔	82.0×32.0×24.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1996年	ブロンズ	83.5×114.5×10.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 97-3	1997年	樺、一位、ステンレス	205.0×200.0×37.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1998年	樺、鉄板	203.0×200.0×50.0
澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	36.0×26.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 4	1999年	樺	236.0×54.0×37.0
澄川 喜一	翼 3	1999年	樺、樟	42.0×68.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 99	1999年	樺	278.0×159.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 3	1999年	樺、黒壇	118.0×10.0×9.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 5	1999年	樺	124.5×38.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 7	1999年	樺	71.0×60.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	1999年	樺、カランタス	205.0×230.0×53.0
澄川 喜一	そりのあるかたち B	1999年	樺	93.5×112.0×13.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	268.0×97.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	345.0×120.0×80.0
澄川 喜一	風	2001年	黒御影石	150.0×26.8×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-1	2001年	樺、チーク、松、鉄板	310.0×130.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-4	2002年	松	232.0×93.0×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-1	2002年	樺	205.0×193.0×60.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-3	2002年	樺、檜	280.0×116.0×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち G	2002年	樺	99.0×19.0×31.5
澄川 喜一	太陽	2002年	赤御影石	46.0×28.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 03	2003年	樺、檜、ステンレス	310.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 04	2004年	樺、ステンレス	250.0×180.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2004年	神代樺、樺、ステンレス	88.0×82.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち d	2005年	ステンレス	78.0×87.0×17.0
澄川 喜一	翔 II	2005年	神代樺、ステンレス	43.0×61.0×35.0
澄川 喜一	瀧	2005年	杉、樺	122.0×19.0×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 05	2005年	神代樺、樺、檜	240.0×172.0×42.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 06	2006年	神代樺、樺、ステンレス	197.0×180.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、檜	102.0×30.0×20.0
澄川 喜一	木霊 A	2007年	檜、樟	127.0×31.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	神代樺、樺	211.0×65.0×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 0	2007年	神代樺、樺	90.5×10.5×10.2
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、杉	208.0×205.0×46.0
澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	170.0×24.0×24.0
澄川 喜一	木の華	2007年	杉、樺、カランタス	88.0×28.0×24.5
澄川 喜一	MASK	2007年	チーク、樺	56.0×21.0×15.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 15	2007年	栗、槐、榎、樺	97.5×24.0×14.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 18	2007年	樺	113.0×13.0×10.5
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2008年	樺	137.0×30.0×22.0
澄川 喜一	木霊 B	2008年	檜、カランタス	112.0×30.0×18.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2008	2008年	神代樺、樺、檜	190.0×162.0×52.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	そりのあるかたち N	2008年	栗、榿、槐	44.0×79.0×12.0
澄川 喜一	翔 A	2008年	神代樺、ステンレス	137.0×70.0×40.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2009	2009年	神代樺、樺	228.0×118.0×53.0
澄川 喜一	矢羽根 I	2010年	神代樺、樺	219.0×55.5×26.3
澄川 喜一	そりのあるかたち	2010年	杉、樺	212.0×33.0×31.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2010	2010年	樺	212.5×167.0×39.0
澄川 喜一	そりのあるかたち a	2010年	樺	179.0×161.5×38.5
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2010年	樺	107.0×106.0×29.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2011年	樺	213.0×129.0×30.0
澄川 喜一	TOWER	2012年	樺	111.0×21.0×22.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2012年	神代樺、杉	160.0×47.0×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち C	2012年	神代樺	156.5×34.5×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち D	2012年	神代樺、樺	179.0×111.0×37.5
澄川 喜一	そりのあるかたち F	2012年	樺、桂	43.0×129.0×15.5
澄川 喜一	そりのあるかたち B	2012年	樺	227.0×52.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2012	2012年	樺	233.5×100.0×54.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2013年	樺	84.0×15.0×14.5
澄川 喜一	TO THE SKY Ⅲ	2015年	樺	65.5×15.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	黒壇、樺	30.5×10.5×5.5
澄川 喜一	そりのあるかたち n	2015年	ローズウッド、樺	32.0×12.2×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2015年	白檀、樺	7.5×44.0×8.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	神代樺、樺	26.0×44.5×8.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2017年	樺	216.0×58.0×45.5
澄川 喜一	門(かんぬぎ)	2018年	樟、樺、杉	79.0×30.0×20.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2018年	杉	215.0×85.0×50.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	槐、樺、神代樺	210.0×48.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	48.0×19.0×7.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樟	47.0×18.0×9.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	26.5×52.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺、カラントス	210.0×64.0×50.0
澄川 喜一	TO THE SKY	2019年	樺	75.5×24.0×12.2
澄川 喜一	扉	2020年	樺	41.0×48.0×10.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年	樺	55.5×48.0×12.5
澄川 喜一	しかくいかわ	2020年	樺	13.5×14.3×10.2
澄川 喜一	フェニックスの翼(第39回「2020年日経優秀製品・サービス賞」の記念ブロンズ像)	2020年	ブロンズ	50.0×8.0×8.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺、杉、鉄板	251.0×30.5×26.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	12.7×85.0×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀、樺	15.5×42.0×13.5
澄川 喜一	そりのあるかたちb	2021年	杉	164.5×37.0×20.0
澄川 喜一	そりのあるかたちf	2021年	神代樺	108.0×40.5×29.0
澄川 喜一	おろち	2021年	ステンレス	27.5×33.0×10.0
澄川 喜一	らふ	2021年	樺	31.5×6.0×6.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺	高203.0
澄川 喜一	そりのあるかたち Y	制作年不詳	樺	117.0×25.0×24.0
澄川 喜一	SKULL	制作年不詳	カラントス	パーツが4つに分かれる/ 1パーツ高 約70~80
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、カラントス	63.0×21.0×57.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳(初期)	樺	102.0×21.5×34.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、松	202.0×168.0×33.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、杉	67.0×125.0×32.0
澄川 喜一	MASK	制作年不詳	金属	35.0×28.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	金属	15.5×26.5×5.3
澄川 喜一	トロフィー	制作年不詳	金属	42.0×8.0×8.0
澄川 喜一	トロフィー	制作年不詳	金属	33.5×6.5×5.0
澄川 喜一	観音菩薩立像	制作年不詳	木	9.5×3.3×1.2
澄川 喜一	宝舟	制作年不詳(2019年か)	樺、杉	81.0×23.0×8.0
澄川 喜一	翼	制作年不詳	木	71.0×47.0×6.0
澄川 喜一	おろち	制作年不詳	ステンレス	40.0×28.0×9.0
澄川 喜一	MASK	制作年不詳	カラントス	52.0×30.0×20.0
藪内 佐斗司	どこかものたりない 不可思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
藪内 佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	櫨	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
伊東 茂平	ジャケット、ドレス(青)	1936年	青色のウール ドレスの胸元にシャーリング 襟とカフスに白色の畝のある生地
伊東 茂平	ジャケット、パンツ(緑)	1937年	緑色に白いネップのあるウール 肩に深緑色の革のパッチワーク 同じ革のポケット
伊東 茂平	ジャケット、スカート、襟巻	1961年	黒と白のウール ジャケットにジッパー付
伊東 茂平、伊東 孝	コート(黒グレンチェック)	1955～65年頃	黒グレンチェックのウール 裏地はキャメルウール
伊東 茂平	コート(紺チェック)	1955～65年頃	紺色チェックのウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(黒)	1955～65年頃	黒色ウール 裏地は化繊
伊東 茂平	ジャケット、スカート(チャコールグレー)	1955～65年頃	チャコールグレーのウール
伊東 茂平	コート(茶)	1955～65年頃	茶色化繊のグログラン
伊東 茂平	ドレス(黒)	1955～65年頃	黒色ウール 襟がストールになったデザイン 肩パッド入り
伊東 茂平	コート(紺)	1955～65年頃	紺地に黒色の花をプリントした化繊のサテン ベルト付
伊東 茂平	コート(黒とグレー)	1955～65年頃	黒とグレーのモヘア ベルト付
伊東 茂平	コート(黒)	1955～65年頃	黒色のウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(茶)	1955～65年頃	茶色のネップ入りウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(紺)	1955～65年頃	紺色梨地織のウール
伊東 茂平	ドレス(紺)	1955～65年頃	紺色のウール
伊東 茂平	ドレス(グレー)	1967年	グレーのウール 襟と袖口はピンク色のウール ピンク色ウールのハイソックス付
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	トップ	1996年 / 1997年 春夏	赤いギンガムチェックプリント 左脇や後ろ肩に変形のあるタイトフィットの半袖Tシャツ
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	スカート	1996年 / 1997年 春夏	ピンク色のギンガムチェックプリント ゴムで所々シャーリングを寄せたタイトフィットのロングスカート 右前に変形あり
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート ドレスは、帯地と絹サテン
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット シルクサテンのドレス ドレスの背には大きなりボン飾り
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン 絹サテンのベルト
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト付
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット 金色の糸で手編みしたドレス
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント ワンピース・ドレス
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 同柄の絹シフォンのストール
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 ネックにビーズ刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット 黒色ウールのタイトスカート
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ 腰に濃紺のブレードでベルト飾り
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り ストール付き 同素材のタイトスカート
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン 同素材でできたベア・トップのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート 同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットドレス



作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス マーメイドライン、ノースリーブ スパングルによる刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り 飾りピン付き 白いウールのアコーディオンプリーツのスカート
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル 緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート 襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス 胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス 同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス 腰にモザイク状のベルト飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス 裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のジャケットとスカート
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	紺のウールのジャケットとスカート ベルト付き
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	黒のウールのジャケットとスカート
アズディン・アライア	コート	1980年代	黒のウールのコート
アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	黒のレザーのバイカージャケット
アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	黒のレザードレス
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のスーツ
アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	ダークデニムのジッパースカート
アズディン・アライア	ドレス	1980年代	ディープ V フードレープバックレスガウン
アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	ブラウンのレザー・ジャケット
アズディン・アライア	ドレス	1980年代	生成りのシャツ・ドレス バックレス
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーのウールのスーツ
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス 裏地はクリーム色の絹
アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピース・ドレス、絹サテン地でバイピング
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール マンダリン・カラー 茶革のトリミング、折り返しのあるカフス
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～70年	フェイクのエナメル(ビニール製) 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～68年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍 スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地 Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材 共布のショール付き
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス 皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ チェックの綿のシャツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス スカラップ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス サブリナ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス ラウンド・ネック 長袖



作家名	作品名	制作年	材質
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス ショッキングピンクのアンダードレス
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様 ホルターネックブラ
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク 衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク) 肩にプラスチック・ジップ
エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス ボーン入り
ガブリエル・シャネル	ドレス、カーディガン	1920年代	ピンクベージュと黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたノースリーブドレス 黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたカーディガン 襟ぐりから前見ごろ 裾と袖口にシルバーのビーズでバイピング
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス サテン地のリボン
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス バイアスカット 黒の絹のスリッパ
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス 襟元にポー飾り 背面にバスル風形状の飾り 共布のストールと靴
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラー ジャケットに飾りポケット 巻きスカート
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス 裏地はピンクの絹オガンザ 内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット 巻きスカート、シース型のアンダースカート付
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地 大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ 後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り 両脇にポケット 背中中央にボックスプリーツ 裏地はグレーの絹
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ ウエストにベルト
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグラン・スリーブ 幅広の帯風のベルト ボディスの内側にはチュール地のボーン入り コルセットとガーター スカートにはチュール地の3段のペチコート
クリスチャン・ディオール / マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ビーコック・ブルーの絹 裏地は青の絹オガンザ 七分丈スリーブ 左右が不均等なボレロ風ジャケット
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート ジャケットは肩幅の狭いシルエット ベルト付き ビーズ付き濃紺の靴
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン トラペーズラインのドレス
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンゲル、人造宝石の刺繍
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス マンダリンカラー 袖には金色に着色した木製釦 アンダースカート付
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」 ピンクベージュの絹のスリッパ・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」 絹シフォンのアンダードレス付
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス 金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディスとスカートに稲妻と雲のデザイン 雲のデザインの薄い青色のトレーン
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス ボディスとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス 袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク バイアスカット
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール 肩パッド付きのジャケット スリットのあるタイト・スカート
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート 椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル 黒の毛皮のトリミング 裏地は黒のベルベット
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～05年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている S字ライン
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～20年	絹 チュールにアップリケ
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにくるみ釦、ファスナー
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹 開襟カラー 両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット 前面にくるみ釦 クリノリン型のスカート チュール・ネットの下着付き

作家名	作品名	制作年	材質
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント
バーバラ・フラニッキー ／ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーゾン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアーパンツ
バーバラ・フラニッキー ／ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンのフレアーパンツ
バコ・ラバヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地 後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン・シフォン地 銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスワングルで刺繍 裏地はライム・グリーン・シフォン
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス 前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー ボディスとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント 裏地の裾に黒色の絹ベルベット
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元、ロウ・ウエスト
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンス」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍 袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き
マックス・スニシェウ	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント ウエストに二つのポケット 黒の絹の縁
マックス・スニシェウ	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント 襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン 伸縮性のある袖口 二つのポケット
マックス・スニシェウ	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント 濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟袖も青の絹で縁取り
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアス・カット
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス サークュラー・スカート ホルター・ネック 黒い絹サテンのアンダー・ドレス付 黒いチュールのストール
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス
マリア・モナチ・ガレンガ	ティー・ガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアン・ビーズ ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ 金色のステンシル・ワーク 脇、裾にトンボ玉付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ 背中に深いVカット ラグラン・スリーブ
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット ライニングは絹のシルバー・ラメ フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り
リバティ商会	ティー・ガウン	1908年	ブルー・グレーのクレープ 茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング 襟に中国風刺繍
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹 シダ植物と花の模様が交差するパターン 襟元と袖に毛皮 袖はカフタン風 裏地はベージュの絹ベルベット

作家名	作品名	制作年	材質
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スー・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～20年代	白色の絹ボンジー 袖無しのボディ、パンツ
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	白色綿のオーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン・ウール ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール ジャケット、ジョッパーズ・パンツ
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール ジャケット、ブルマー、カラー ルースなブラウス風のボディ、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー
作者不詳	水浴着	1905～10年頃	濃紺のウール 上着、ブルマー、スカート
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ
作者不詳	イヴニング・シューズ	1920年代	革 Tストラップ ビーズとスパングルで刺繍
作者不詳	手袋	1920年代	革 チェーンステッチによる刺しゅう
作者不詳	ネックレス	1920年代	パール 象の彫刻がされた石
作者不詳	イヴニング・バッグ	1920年代	炎のような図柄にビーズ編み
作者不詳	ヘッド・ドレス	1920年代	金糸にクリスタルビーズを配した帽子型
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク 両端にタッセルの飾り
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン・ゴム製 銀色にペイントされた羽根模様
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	子ども用ドレス	1850～60年	綿 カットワーク刺しゅう
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス 全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅうレースの飾り 両脇に大きな飾りポケット 背中に貝ボタンの装飾
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス 前身頃に細かな装飾 襟とスカートにスカラップ（ホタテ貝の貝殻）型の縁飾り 後方に大きなボウ飾り
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年（1890）頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス 高い位置にウエストライン 大きくふくらんだ袖 全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾 付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン（横畝のある平織地）の絹の帽子
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年（1880～90）頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用 襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年（1880）頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス ピンク色の絹ファイユの胸当て セーラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾 七宝のボタン フランス製 “Au Printemps Paris”とラベルあり
作者不詳	男児服	明治10～23年（1870年代後半～80年代）	青色のウールのジャケット 飾りボタンの装飾 赤いシルクのライニング フランス製 “AU LOUVRE PARIS RAYON 53”とラベルあり
作者不詳	敷布	昭和初期	手績みの藤糸を経糸と緯糸に使い平織 島根県鹿島町上講部にて作られたもの
宮崎 マセ	敷布	1983～90年	手績みの葛糸を経糸と緯糸に使い平織 佐賀県唐津市で作られたもの
草間 彌生	アヴァンギャルドファッション	1968年（1998年再制作）	

## テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ (cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～28年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～30年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

## テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912~28年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922~30年代	水彩、紙

## ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904~34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901~13年	各35.5×27.0	1~156号合本
『アール・グー・ポータ』	1922~33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924~28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり
『マドリゴー』	1960年	リトグラフ、ポシヨワール、紙	30.0×24.0×2.5

## 作家資料

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
伊東 茂平	スクラップブッカー式	1935年頃~1968年		
大下 藤次郎	作家資料一式 模写、日記、手記、筆写・翻訳、記録、書簡、出版物、その他資料、遺品など			
鈴木 健吉	山本栞谷「雅客遊戯図」模写	1878(明治11)年	紙本着色 まくり	171.0×68.0
鈴木 健吉	山本栞谷「三福神図」模写	明治時代(19世紀)	紙本着色 まくり	90.5×60.3
鈴木 健吉	山本栞谷「虎図」模写	明治時代(19世紀)	紙本着色 まくり	169.0×60.5
澄川 喜一	ブロンズ像の石膏原型(3点)	制作年不詳	石膏	
澄川 喜一	Kさんの石膏原型	1960年	石膏	
澄川 喜一	噴水(うごく城)(山口県山口市・亀山公園) モニュメントの石膏原型	1989年頃	石膏	
澄川 喜一	横浜みなとみらい線馬車道駅モニュメント 「金波・銀波」のマケット	2004年頃	ステンレス、金箔	
澄川 喜一	肖像彫刻の石膏原型(4点)	制作年不詳	石膏	
澄川 喜一	大分空港モニュメント 「TO THE SKY」のマケット	1993年	金属	
澄川 喜一	作家資料一式(R2年度寄贈分) スケッチブック、 原稿、メモ、モニュメントスケッチなど			
澄川 喜一	裸婦像	1955年	テラコッタ	15.8×13.5×9.0
澄川 喜一	《光る風》(JR釧路駅)のマケット	1987年	金属	29.0×56.0×14.0
澄川 喜一	《扇》(岡山県井原鉄道伊原駅)のマケット	1988年	発砲スチロール	13.0×23.0×13.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》 (新宿モノリスビル)のマケット	1990年	木	51.5×15.5×15.5
澄川 喜一	鴨池橋竣工記念 横浜鴨池橋モニュメントの模型	1991年	金属	42.5×19.0×16.5
澄川 喜一	《TO THE SKY》 (シンフォニア岩国・山口県)のマケット	1996年頃	発砲スチロール	右：45.0×7.0×7.0 左：45.0×7.0×7.5
澄川 喜一	シールドマシーン、カッタービット (澄川喜一作品資料)	1997年	金属	12.0×19.5×15.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》 (NTTドコモ代々木ビル)のマケット	2000年	金属	14.0×13.0×6.5
澄川 喜一	《日・月》/《清瀬の流れ》 (清瀬けやきホール)下絵	2010年	紙、額装 2点	いずれも52.0×36.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》 (とうきょうスカイツリー駅)下絵	2012年	紙、額装	31.0×97.0
エミリオ・グレコ	裸婦像(澄川喜一収集作品)	制作年不詳	ブロンズ	58.0×12.0×21.0
白井 雨山	獅子舞(澄川喜一収集作品)	制作年不詳	木	19.0×8.5×11.0
澄川 喜一	少女頭部	制作年不詳	テラコッタ	17.0×11.0×18.0
澄川 喜一	裸婦像	制作年不詳	テラコッタ	20.5×12.0×15.0
澄川 喜一	裸婦像の石膏原型	制作年不詳	石膏	41.0×14.0×14.0
澄川 喜一	《フェニックスの翼》(茶碗1・湯呑2)	制作年不詳	陶器 3口	高さ10.0
澄川 喜一	マケット	制作年不詳	発砲スチロール	44.5×7.0×7.0
澄川 喜一	マケット	制作年不詳	発砲スチロール	36.5×10.0×9.5
澄川 喜一	マケット	制作年不詳	発砲スチロール	40.0×10.0×12.0
澄川 喜一	マケット	制作年不詳	発砲スチロール	38.0×10.0×10.0
澄川 喜一	《おろち》の原型	制作年不詳	石膏	26.0×27.0×12.0
澄川 喜一	作家・作品に関する資料(スケッチブック)一式	制作年不詳		
澄川 喜一	作家・作品に関する資料(原稿・メモ)一式	制作年不詳		
澄川 喜一	(作家・作品に関する資料)スクラップブッカー式	制作年不詳		

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
澄川 喜一	(作家・作品に関する資料) モニュメントスケッチー式	制作年不詳		
作者不詳	墨壺(澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木、金属 19点	長さ8.5~35.0
作者不詳	アフリカの仮面(澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木	26.5×19.0×14.0
作者不詳	アフリカの太鼓(澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木	66.0×22.0×21.0
作者不詳	アフリカの仮面(タンザニア) (澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木	30.0×14.0×6.0



購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法、材質
1	服飾	森 英恵	アロハシャツ (映画『狂った果実』衣装)	1956年	赤地に白の花柄をプリントした綿のシャツ
2	服飾	森 英恵	カクテル・ドレス (映画『二人の世界』衣装)	1966年	薄桃色の絹縮緬のノースリーブのミニドレス、 胸元に麻の葉柄をビーズ刺繍
3	服飾	森 英恵	スーツ (映画『私、違っていいから』衣装)	1966年	ウールモヘアのダブルジャケット、 共布をバイアスでとったタイトスカート
4	服飾	森 英恵	デイ・アンサンブル (映画『夜霧よ今夜も有難う』衣装)	1967年	襟と袖口にラビットファーをあしらったベージュウールのジャケット、 共布のミニワンピース、ハイネック、ノースリーブ
5	服飾	森 英恵	デイ・ドレス (映画『地球40度線 赤道を駆ける 男』衣装)	1968年	熨斗柄を染めた絹地のミニワンピース、ハイネック
6	服飾	ポール・ポワレ	コート	1920年代	水色の絹タフタのロングコート 首と袖周りに黒の絹ベルベットで トリミング、金のブレード刺繍 首元にラビットファー

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	日本画	西 晴雲	江上停泊図	昭和10~30年代	紙本着色	131.9×32.9
2	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	1981年(1993年)	アルミ	84.0×33.0×8.5
3	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	1985年	ブロンズ	76.5×17.0×9.5
4	彫刻	澄川 喜一	おつきさま	1995年	黒御影石	110.0×60.0×52.0
5	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	1999年	樺	77.0×52.0×12.0
6	彫刻	澄川 喜一	翔	2000年	樺	120.0×330.0×20.0
7	彫刻	澄川 喜一	木立ち	2002年	樺	65.5×18.0×14.0
8	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2005年	樺	63.0×12.5×12.5
9	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2005年	神代樺、樺	51.5×38.0×13.5
10	彫刻	澄川 喜一	木霊Ⅲ	2007年	檜、樺	79.0×24.0×13.0
11	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち19	2007年	ブロンズ、槐	98.0×12.0×22.0
12	彫刻	澄川 喜一	風	2007年	樺(樺、松、檜?)	68.0×21.0×18.5
13	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2007年	樺	56.6×43.0×8.0
14	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちg	2010年	樺、杉	84.0×18.5×29.5
15	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2012年	神代樺、樺	83.0×96.0×15.0
16	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2015年	神代樺、樺	173.0×55.0×50.3
17	彫刻	澄川 喜一	華	2015年	ステンレス	33.5×22.5×14.0
18	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちd	2016年	樺	78.0×15.0×11.0
19	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2016年	樺	111.0×26.0×26.0
20	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちg	2017年	槐	68.0×26.5×20.5
21	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2018年	神代樺、樺	89.0×25.5×22.0
22	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2018年	樺	80.0×15.5×10.0
23	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2019年	樺	143.0×38×23.0
24	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちL	2019年	槐、金箔	51.5×17.0×7.5
25	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちe	2019年	樺	48.5×7.7×7.7
26	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちC	2019年	樺、カラントス	61.5×36.5×11.0
27	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2019年	樺	82.0×14.0×10.0
28	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたちS	2019年	黒檀、樺	26.5×15.0×4.0
29	彫刻	澄川 喜一	つなぎ	2019年	白檀、樺	17.5×48.0×7.0
30	彫刻	澄川 喜一	TO THE SKY A	2019年	樺、杉	61.5×14.5×10.5
31	彫刻	澄川 喜一	風	2019年	ステンレス	34.5×16.5×10.0
32	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2020年	樺	174.0×41.0×31.0
33	彫刻	澄川 喜一	そのあるかたち	2020年	樺	118.0×33.0×27.0
34	彫刻	澄川 喜一	トライアングル	2020年	樺	32.0×20.0×18.0



	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
35	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年	白檀	40.0×14.0×7.5
36	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年	白檀	47.5×10.0×8.0
37	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年	白檀、樺	43.0×15.0×11.0
38	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	181.0×27.5×25.0
39	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	神代樺、樺	161.0×27.5×32.0
40	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	78.5×12.0×12.0
41	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	杉、カラントス、樺	69.5×16.0×8.5
42	彫刻	澄川 喜一	兜	2021年	樺	24.5×31.5×7.5
43	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	41.5×21.5×15.5
44	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀	46.0×10.0×6.0
45	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀、槐、檜	23.0×45.5×9.0
46	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	36.0×14.5×9.8
47	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	杉、樺	59.0×19.5×14.5
48	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	40.0×14.2×9.5
49	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	神代樺、樺	46.0×16.2×9.8
50	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	神代樺、樺	44.0×12.0×10.0
51	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	黒檀、白檀、槐	27.0×24.0×8.0
52	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	黒檀	31.0×14.0×4.0
53	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀、樺	52.9×24.4×16.7
54	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	神代樺、樺	60.0×13.0×11.0
55	彫刻	澄川 喜一	瀧のぼり	2021年	樺、金箔	62.8×13.5×4.5
56	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀、樺	78.5×20.0×20.0
57	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	20.0×51.5×14.0
58	資料	澄川 喜一	制作道具類一式(愛用のノミ、トンカチ、カンナ、ノコ、キリ等)			
59	資料	澄川 喜一	木材一式(チョークで作品外形をカットする際の印がついたもののみ)			
60	資料	澄川 喜一	「無題(スポーツ功労者顕彰記念像)」(1978年)の石膏原型			
61	資料	澄川 喜一	「裸婦」(1958年頃)の石膏原型			
62	資料	澄川 喜一	マケット2点(野外彫刻の下案)			
63	資料	澄川 喜一	下絵、スケッチ一式(野外彫刻の下絵、スケッチ)			
64	資料	澄川 喜一	仕掛かり品一式(制作途中のもの、パーツの一部など、非公表のもの)			
65	服飾	森 英恵	ドレス	1965~67年頃	青地に牡丹色と水色の牡丹柄が染められたドレス 絹シフォンと絹の羽二重を重ねている ロングスリーブ、ハイネック	
66	服飾	森 英恵	ドレス	1960年代後半~70年頃	梅、瑞雲、熨斗などを組み合わせた図柄のワンピースドレス 絹シフォンと羽二重を重ねている ラウンドネック、ロングスリーブ 共布のベルト付き 日本での購入品か	
67	服飾	森 英恵	ドレス	1960年代後半~70年頃	紺地にグレーの松、水色の竹、ピンクの梅を配した柄のワンピースドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 濃紺ベルベットのベルト付き	
68	服飾	森 英恵	ドレス	1960年代後半~70年頃	菊や格子を組み合わせた日本的な図柄を紺や水色など寒色で表した図柄のワンピースドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 紺色ベルベットのベルト付き	
69	服飾	森 英恵	ドレス	1970年代前半	ピンク地に秋草柄を配した図案のロングドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 緑のベルベットのベルト付き	

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
70	服飾	森 英恵	ドレス	1973年春夏	山に蝶や花を配した図案のワンピースドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ラウンドネック、七分袖 背面首元にリボン飾り	
71	服飾	森 英恵	ドレス	1970年代	桃色に菖蒲や百合、菊、撫子などを染めたロングドレス シルクシフォンと羽二重を重ねている ハイネック、ロングスリーブ 黒のベルベットのベルト付き	
72	服飾	森 英恵	ドレス	1977年以降	縦縞が織り出された黒地に南国の樹木が大きく描かれた図柄のロングドレス シルクシフォン 黒の羽二重のアンダードレス付き	
73	服飾	森 英恵	ドレス	1977年以降	黒地に扇面柄を染めたシルクシフォンのロングドレス ビーズ刺繍されたハイネック、黒のインナードレス付き	
74	服飾	森 英恵	ドレス	1977年以降	グレーのバラ柄のシルクシフォンのロングドレス ラウンドネック、ロングスリーブ 胸部にスモッキング アンダードレス欠損	
75	服飾	森 英恵	ドレス	1970年以降	黒地に白の楕円がいくつも配された図柄のワンピースドレス ポリエステルシフォン ラウンドネック、ロングスリーブ アメリカ製、レディートゥウェア	
76	服飾	森 英恵	スカーフ(一式)	1960年代～2000年代	蝶や花などの図案のスカーフ21点、いずれもシルク	
77	服飾	森 英恵か	デイドレス	1960年頃	チェック柄綿のロングシャツワンピース	
78	服飾	森 英恵	コート	1960年頃	サンドベージュのモヘアのコート	
79	服飾	森 英恵	シャツ (映画『あした晴れるか』衣装)	1960年 1960/10/26	プリント柄の綿の長袖シャツ	
80	服飾	森 英恵	ツーピースドレス (映画『青年の樹』衣装)	1960年 1960/4/28	モスグリーン、レモンイエロー、オレンジの変わり織地のツーピース	
81	服飾	森 英恵	デイドレス (映画『赤い夕陽の渡り鳥』衣装)	1960年	千鳥格子のタイトなトップとスカート	
82	服飾	森 英恵	デイドレス (映画『霧笛が俺を読んでいる』衣装)	1960年	白地にピンクのバラ柄のノースリーブワンピース、襟付き	
83	服飾	森 英恵	ツーピースドレス (映画『大草原の渡り鳥』衣装)	1960年	紺地に緑と紫の変わり織り地のツーピース	
84	服飾	森 英恵	ドレス (映画『闘牛にかける男』衣装)	1960年	白地にピンクと黄緑のストライプ柄、綿のノースリーブワンピース	
85	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1960年	千鳥格子のジャケットとスカート	
86	服飾	森 英恵	ツーピースドレス (映画『拳銃無頼帖』衣装)	1960年 1960/12/3	グレーと黒の変わり織り地のジャケットとタイトスカート	
87	服飾	森 英恵	デイドレス (映画『愛と死のかたみ』衣装)	1962年 1962/11/21	黄緑地に水色と藤色のバラ柄のブラウスとタイトスカート	
88	服飾	森 英恵	コート	1962～63年頃	変わりチェックの幅広のコート	
89	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1962～63年頃	紫のベルベットのトップとスカート、襟とポケット口に紺のリボン飾り	
90	服飾	森 英恵	ドレス	1963年頃	紺のベルベットのロングワンピース、ラウンドネック	
91	服飾	森 英恵	ドレス (映画『丘は花ざかり』衣装)	1963年	白リネンのワンピース、ラウンドネック、ショートスリーブ、ダブルのボックススカート、	
92	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1963年頃	グレーのトップとスカート、ラウンドネック	
93	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1963年頃	クリームとピンクの変わり織のショートジャケットとロングスカート	
94	服飾	森 英恵	ドレス	1963年頃	象形文字柄のシャツワンピース、ロングスリーブ、袖・襟・ウエストに飾り布	
95	服飾	森 英恵	ジャケット (映画『光る海』衣装)	1963年	千鳥格子のショートジャケット、白でパイピング	
96	服飾	森 英恵	コート (映画『赤いハンカチ』衣装)	1964年	首に狐のファーが付いた黒のロングコート、ラグランスリーブ	
97	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1964年頃	ショート丈のジャケットとロングスカート	

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
98	服飾	森 英恵	デイドレス (映画『殺人者を消せ』衣装)	1964年	キャメル地に黒のプリントのショートドレス、ウエストにリボン飾り	
99	服飾	森 英恵	デイドレス	1963~64年頃	サイケデリックな花柄のジャージーワンピース、胸にV字型のかざり、背中に飾りリボン	
100	服飾	森 英恵	ドレス	1963~64年頃	黒のロングシャツドレス、襟と袖口にレース飾り	
101	服飾	森 英恵	コートドレス	1963~64年頃	紫のロングコートドレス	
102	服飾	森 英恵	ドレス (映画『若草物語』衣装)	1964年	幾何学的な模様のこげ茶のベルベット、シャツワンピース、ベルト付き	
103	服飾	森 英恵	ドレス (映画『若草物語』衣装)	1964年	緑の大きな花柄のワンピース、深いVネック、ノースリーブ	
104	服飾	森 英恵	ドレス	1964~65年頃	ヒョウ柄のタイトなショートドレス、ショーツスリーブ	
105	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1964~65年頃	黒地に白の抽象柄がプリントされたシャツジャケットとロングスカート	
106	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1964~65年頃	黒とグレーの変わり縞のニット、トップとスカート	
107	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1964~65年頃	ピンクのツイード生地のもーカラージャケットとロングスカート	
108	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1964~65年頃	こげ茶のジャケットとロングスカート	
109	服飾	森 英恵	ツーピースドレス (映画『二人の世界』衣装)	1966年	茶の薄手のツイード生地、ラウンドネックのトップ、ロングスカート	
110	服飾	森 英恵	ツーピースドレス (映画『二人の世界』衣装)	1966年	モカ色の薄手ツイード地のラウンドネックのジャケット、ロングスカート	
111	服飾	森 英恵	トップス (映画『二人の世界』衣装)	1966年	白地に黒の和柄プリントの絹サテンのトップ、ノースリーブ、襟から胸にかけて大きくドレープ	
112	服飾	森 英恵	ドレス	1966年頃	黒のノースリーブワンピース、襟ぐりが大きく開いたデザイン、胸下に紐飾り	
113	服飾	森 英恵	デイドレス	1966年頃	ピンクのサファリ型シャツワンピース、バンドカラー	
114	服飾	森 英恵	ドレス	1966年頃	紺色のラウンドネックのワンピース、ショーツスリーブ、袖元と胸元にリボン飾り	
115	服飾	森 英恵	ドレス	1966年頃	サイケデリックな模様のジャージーショートドレス、フレア袖	
116	服飾	森 英恵	ドレス	1966~67年頃	千鳥格子のショートドレス、ロングスリーブ、襟と袖口は白の別布	
117	服飾	森 英恵	ドレス	1966~67年頃	こげ茶に深緑をさし色にしたシャツワンピース、ロングスリーブ、ベルト付き	
118	服飾	森 英恵	ドレス	1966~67年頃	幾何学的な模様がプリントされた絹サテンのショートドレス、ハイネック、ショーツスリーブ	
119	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1966~67年頃	赤のダブルのジャケットとロングスカート	
120	服飾	森 英恵	ドレス	1966~67年頃	深緑のタイトなロングチャイナドレス、ノースリーブ、襟と裾に飾り付き	
121	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1966~67年頃	ピンクと黄緑のモヘア、ラウンドネックのショートジャケット、ロング丈の巻きスカート	
122	服飾	森 英恵	ドレス	1967年頃	水色のロングシャツワンピース、ロングスリーブ、ベルト付き	
123	服飾	森 英恵	ドレス	1967年頃	ライトグレーのトップとチャコールグレースカートを併せたウールジャージーのワンピース	
124	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1967年頃	クリーム色のジャケットとロングスカート	
125	服飾	森 英恵	ドレス	1967年頃	黄緑にライムグリーンのシダ柄、同柄の絹サテンと絹シフォンを重ねたショートドレス、ラウンドネック、ノースリーブ	
126	服飾	森 英恵	デイドレス	1967年頃	紺地にピンクやオレンジのマルチボーダー柄ニットのショートドレス、ハイネック、ショーツスリーブ	

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
127	服飾	森 英恵	デイドレス	1967年頃	紺地にピンクやオレンジのマルチボーダー柄ニットのショートドレス、ハイネック、ショートスリーブ	
128	服飾	森 英恵	デイドレス	1967年頃	ピンクに黄色の変わり織りのショートドレス、腰で生地を表裏を切り替え	
129	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1967年頃	クリーム色のロングジャケットとハーフボックススカート	
130	服飾	森 英恵	ジャンプスーツ	1967年頃	朱・ピンク紫・橙・黄土を組み合わせた波柄の絹サテン、ショート丈のジャンプスーツ、シャツ型	
131	服飾	森 英恵	ドレス	1967～68年頃	白地に黒で和柄を染めた絹サテンのロングドレス	
132	服飾	森 英恵	ツーピースドレス	1967～68年頃	キャメル地のシャツ型ジャケットとロングスカート	
133	服飾	森 英恵	ドレス	1967～68年頃	こげ茶のコーデュロイのジャンパースカート、ロングスリーブ	
134	服飾	森 英恵	コート	1965年以降	紺色チェックのシャツ型コートドレス、ベルト付き	
135	服飾	森 英恵	ドレス	1963年頃	黒の幅広シャツ型ロングワンピース、ハーフスリーブ	
136	服飾	森 英恵か	ツーピースドレス	不詳	黒地にグレーのストライプのシャツジャケットとスラックス	
137	服飾	不詳	絣(宝袋と扇)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	①141.0×32.8 ②144.8×32.8 ③33.6×93.8
138	服飾	不詳	絣(鼓)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	①69.0×32.4 ②75.0×32.6 ③75.8×32.5
139	服飾	不詳	絣(格子に蝶と扇)	不詳	藍で先染めの綿を平織り、格子は化学染料	145.0×95.1
140	服飾	不詳	絣(竹と虎)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	137.2×128.0
141	服飾	不詳	絣(海老と格子竹)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	152.0×130.0
142	服飾	不詳	絣(蝶)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	97.4×33.7
143	服飾	不詳	絣(桐と碇と格子文)	不詳	藍で先染めの綿を平織り	145.0×124.4

## 令和4年度 所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「マリイ・ローランサンとモード」展 Bunkamura ザ・ミュージアム 令和5年2月14日～4月9日 京都市京セラ美術館 令和5年4月16日～6月11日 名古屋市美術館 令和5年6月24日～9月3日	ポール・ポワレ《ドライブ用コート》 ポール・ポワレ《カフタン・コート(イスファハン)》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス、スリッパ、ストール》 ジャンヌ・ランヴァン《ドレス》 マーティン・ムンカッチ《ルシール・ブロコウ》 マーティン・ムンカッチ《ハーバース・バザー 1936年6月号》 ホルスト・P・ホルスト《白い袖、パリ》 『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』 『ヴォーグ』1929年6月 『ヴォーグ』1930年11月 『ガゼット・デュ・ボン・トン』よりファッションプレート17点
特別コレクション展「人を描く、動物と描く」 島根県立美術館 令和5年4月26日～5月22日	重要文化財 狩野松栄《益田元祥像》



## 入館者数一覧・パスポート会員数一覧

### 1. 入場者数

	グラントワ 入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	14,016	1,576	1,597	0	3,173			1,920	1,920
5月	30,410	5,639	4,401	0	10,040	3,760	753	4,884	9,397
6月	25,676	3,567	2,935	0	6,502	4,217	1,394	2,732	8,343
7月	20,484	897	935	0	1,832	3,581	2,479	3,340	9,400
8月	32,405	2,001	1,877	0	3,878	6,394	817	3,881	11,092
9月	20,811	2,175	2,054	0	4,229	2,867	1,790	1,835	6,492
10月	26,680	4,051	3,472	0	7,523	3,918	3,037	6,463	13,418
11月	32,283	5,042	3,683	0	8,725	3,261	2,706	4,613	10,580
12月	24,911	1,917	1,705	0	3,622	3,865	1,784	3,030	8,679
1月	17,096	2,713	2,095	0	4,808	1,815	887	1,812	4,514
2月	22,140	2,068	2,028	1,520	5,616	4,140	786	1,778	6,704
3月	16,313	0	763	1,006	1,769	600	2,204	3,166	5,970
合計	283,225	31,646	27,545	2,526	61,717	38,418	18,637	39,454	96,509

※大・小ホール耐震改修工事期間(令和3年12月から令和5年5月)

### 2. 観覧者数

	企画展							小計
	前売券	当日券			ミュージアム パスポート	招待券		
		個人	団体・割引	無料券				
4月	73	194	779	136	184	210	1,576	
5月	194	732	3,160	574	377	602	5,639	
6月	113	447	1,698	255	309	745	3,567	
7月	8	147	200	116	224	202	897	
8月	35	246	448	118	347	807	2,001	
9月	62	436	596	491	137	453	2,175	
10月	49	577	889	1,966	199	371	4,051	
11月	127	1,489	2,045	250	268	863	5,042	
12月	44	522	700	64	166	421	1,917	
1月	52	416	1,085	174	506	480	2,713	
2月	63	280	715	171	322	517	2,068	
3月	0	0	0	0	0	0	0	
合計	820	5,486	12,315	4,315	3,039	5,671	31,646	

	コレクション展							小計
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	73	1	196	636	99	276	316	1,597
5月	194	0	409	2,245	416	377	760	4,401
6月	113	0	237	1,190	180	352	863	2,935
7月	8	5	125	196	89	256	256	935
8月	35	0	223	337	94	354	834	1,877
9月	62	0	316	486	511	194	485	2,054
10月	49	0	324	562	1,966	199	372	3,472
11月	127	1	662	1,511	250	268	864	3,683
12月	44	0	287	564	112	227	471	1,705
1月	52	0	254	609	174	506	500	2,095
2月	63	0	235	513	234	419	564	2,028
3月	0	0	227	230	95	157	54	763
合計	820	7	3,495	9,079	4,220	3,585	6,339	27,545

### 3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	令和5年4月22日(土)～6月19日(月)	52	10,782
没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち	令和5年7月8日(土)～8月28日(月)	46	2,898
建築家・内藤廣 BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い	令和5年9月16日(土)～12月4日(月)	69	12,815
石見特別版 永田コレクションの全貌公開(一章)北斎-「春朗期」・「宗理期」編	令和5年12月23日(土)～令和6年2月12日(月・振休)	40	5,151
合計			31,646

### 4. 特別展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
追悼 澄川喜一展	令和5年12月15日(金)～令和6年2月12日(月・振休)	47	4,263
合計			4,263

### 5. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
718	730	741	735	728	710	726	716	735	774	763	760

## 収支概要

## ■収支概要

## (1) 支出予算 単位：千円

センター運営費	17,707
指定管理委託料	383,716
企画展事業費	58,654
コレクション展事業費	4,102
調査研究・研修費	2,392
美術作品収集費	2,100
センター利用促進事業費	1,000
合 計	469,671

## (2) 収入実績 単位：千円

企画展	15,986
常設展	1,793
パスポート	2,052
目的外使用料	4,806
合 計	24,637

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則で定める書類を添付して、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期的に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事はその賠償の責めを負わない。

## (開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

## (休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

（平17条例39・一部改正）

## (利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

## (許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

## (利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

## (利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

## (利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

## (利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

## (観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

## (観覧料の減免)

第21条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

## (観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、知事が特に必要と認めるときは、この限りでない。

## (指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

## (入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

## (損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

## (秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

## (原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

## (センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

## (罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

## (準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

## (供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

（知事が別に定める日＝平成17年10月8日）

## (経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

## 附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

## 附 則（平成26年条例第1号）抄

## (施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

## 附 則（平成31年条例第1号）抄

改正 平成31年4月26日条例第27号



(施行期日)

- 1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。  
(平31条例27・一部改正)

附 則 (平成31年条例第27号)

この条例は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。  
(施行の日=令和元年5月1日)

附 則 (令和2年条例第10号) 抄

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

(平26条例1・平31条例1・一部改正)

- 1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 32,090	円 42,790	円 53,490	円 64,200	円 85,600	円 107,000
		土、日曜日 及び休日	38,510	51,360	64,190	77,040	102,720	128,410
	1階席	平日	21,390	28,520	35,660	42,790	57,060	71,330
		土、日曜日 及び休日	25,670	34,230	42,790	51,360	68,470	85,600
小ホール		平日	8,550	11,400	14,250	17,110	22,820	28,520
		土、日曜日 及び休日	10,260	13,670	17,110	20,530	27,370	34,230
スタジオ1			4,830	6,440	8,060	9,670	12,900	16,140
スタジオ2			980	1,320	1,660	1,980	2,650	3,330
大ホール大楽屋1			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール大楽屋2			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール中楽屋1			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋2			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋3			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋4			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
大ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール中楽屋1			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール中楽屋2			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
多目的ギャラリー			4,000	5,340	6,690	8,020	10,700	13,380

備考

- 入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額(入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額)の区分に応じた額を加算した額とする。
  - 3,000円以下のもの 10割相当額(徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額)
  - 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
  - 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

## 島根県芸術文化センター条例施行規則

令和2年3月31日

島根県規則第37号

島根県芸術文化センター条例施行規則をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例施行規則

島根県立いわみ芸術劇場管理規則（平成16年島根県規則第91号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（指定管理者の申請に関する書類）

第2条 条例第7条第2項の申請書の様式は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

（事業報告書の内容等）

第3条 条例第9条の規則で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取り消された場合は、その取消しの日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消しの前日までとする。

2 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理の業務に関し条例第9条の規則で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理の業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し知事が必要と認める事項

3 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）の管理の業務に関し条例第9条の規則で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 芸術劇場の管理運営の体制
- (2) 芸術劇場の管理の業務及び文化事業の実施状況並びに芸術劇場の利用の実績
- (3) 芸術劇場の利用料金の収入の実績
- (4) 芸術劇場の管理の業務及び文化事業に要した経費の収支状況
- (5) 前各号に掲げるもののほか、芸術劇場の管理運営に関し知事が必要と認める事項

（芸術劇場の利用の不許可事由）

第4条 芸術劇場における条例第14条第2項第5号の規則で定める事由は、知事が理由があると認める場合を除き、物品の販売その他これに類する行為を行うこととする。

（美術館の観覧料の納付）

第5条 美術館の観覧料は、前納とする。ただし、知事が特に認めた場合は、後納とすることができる。

（美術館の年間観覧券）

第6条 美術館の年間観覧料を支払った者に対しては、美術館の年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、当該年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 美術館の年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

（美術館の観覧料の減免）

第7条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧するもの 観覧料の額の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は心と体の相談センターにおいて知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（次号において「障がい者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障がい者の付添人（原則として障がい者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げる者のほか、知事が特別の理由があると認める者 知事が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、島根県立石見美術館観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、知事の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に掲げる者については、この限りでない。

（美術館の観覧料の割引制度）

第8条 条例別表第2に規定する規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合

- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第9条 条例第28条第1項のセンター協議会に関し必要な事項は、知事が別に定める。

(芸術劇場の設備の基準額)

第10条 条例別表第1の2の芸術劇場の設備の基準額で知事が定める額は、別表のとおりとする。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年規則第10号)

この規則は、平成17年3月7日から施行する。

附 則 (平成18年規則第77号)

この規則は、平成18年9月1日から施行する。

附 則 (平成26年規則第19号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年規則第25号)

改正 平成31年4月26日規則第48号

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

(平31規則48・一部改正)

附 則 (平成31年規則第48号)

この規則は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。

(施行の日=令和元年5月1日)

附 則 (令和2年規則第37号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表 (第5条関係)

(平18規則77・平26規則19・平31規則25・一部改正)

種別	品名	単位	基準額 (1回につき)	備考
舞台大道具及び小道具	演台	1卓	790円	花台を含む。
	指揮台	1台	300円	
	譜面台	1台	90円	
	所作台	一式	7,790円	
	平台	1枚	250円	
	金屏風及び銀屏風	1双	1,580円	
	地がすり	1枚	1,170円	
	緋毛せん	1枚	410円	
	上敷ござ	1枚	200円	
	赤布団	1枚	200円	
	座布団	1枚	70円	
	高座用座布団	1枚	250円	
	箱馬	1個	100円	
	木台	1個	100円	
	開き足	1個	100円	
	人形立	1個	100円	
	雪布	一式	360円	
	振落し竿	一式	300円	
	めくり台	1個	360円	
	箱階段(2段)	1個	300円	
舞台関係設備	舞台せり上げ装置小ぜり	1基	1,100円	
	オーケストラピットせり上げ装置	1基	6,390円	
	大ホール音響反射板	一式	6,290円	
	小ホール音響反射板	一式	3,310円	
	映写スクリーン	一式	1,700円	
	松羽目及び竹羽目	一式	2,720円	

		仮設鳥屋囲い	一式	880円		
		プロンプターボックス	一式	2,200円		
		幕類(定式幕・紗幕)	1枚	990円		
		吊り旗	一式	100円		
舞台関係設備	照明設備	大ホール及び 小ホール共通 照明設備	サスペンションライト(1.5kW)	1台	460円	
			サスペンションライト(1kW)	1台	300円	
			サスペンションライト(750W)	1台	250円	
			サスペンションライト(650W)	1台	200円	
			サスペンションライト(500W)	1台	150円	
			シーリングライト(2kW)	1台	620円	
			シーリングライト(1.5kW)	1台	460円	
			シーリングライト(1kW)	1台	300円	
			シーリングライト(750W)	1台	250円	
			サイドスポットライト(1kW)	1台	300円	
			サイドスポットライト(750W)	1台	250円	
			ステージスポットライト(1.5kW)	1台	460円	
			ステージスポットライト(1kW)	1台	300円	
			ステージスポットライト(750W)	1台	250円	
			ステージスポットライト(650W)	1台	200円	
			ステージスポットライト(500W)	1台	150円	
			トメンタルスポットライト(1kW)	1台	300円	
			トメンタルスポットライト(750W)	1台	250円	
			トメンタルスポットライト(500W)	1台	150円	
			バルコニススポットライト(1kW)	1台	300円	
			バルコニススポットライト(750W)	1台	250円	
			ACライト	1組	730円	
			ランプピン	1台	570円	
			フットライト(3回路用)	1本	460円	
			ストロボライト	1台	1,170円	
			エフェクトマシン	1台	840円	
			プロジェクタースポットライト	1台	370円	
			先玉	1台	200円	
			種板	1個	200円	
			ミラーボール	1個	840円	
			スライドキャリア	1台	1,670円	
			星球	一式	1,170円	
			移動式照明操作卓	1台	2,080円	
		移動式調光器(A)	1台	3,660円		
		移動式調光器(B)	1台	1,250円		
		カラーチェンジャー	1台	1,670円		
		ライトタワー	1台	1,250円		
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	1,650円		
		大ホール 照明設備	ボーダーライト	1列	1,270円	
			アッパーホリゾンライト	1列	2,770円	
ロアーホリゾンライト	1列		1,580円			
クセノンピンスポットライト(3kW)	1列		3,660円			
反射板天板ライト	一式		2,650円			
小ホール 照明設備	ボーダーライト	1列	890円			
	アッパーホリゾンライト	1列	1,480円			
	ロアーホリゾンライト	1列	840円			



舞 台 関 係 設 備	照 明 設 備	小ホール 照明設備	クセノンピンスポットライト(2kW)	1列	2,770円	
			反射板天板ライト	一式	2,650円	
		照明設備を 組み合わせて 使うとき。	大ホールAセット	1組	5,320円	ボーダーライト3列 サイドスポットライト8台 シーリングスポットライト10台
			大ホールBセット	1組	10,560円	ボーダーライト3列 サスペンションライト24台 サイドスポットライト16台 シーリングスポットライト16台
			大ホールCセット	1組	13,540円	サスペンションライト6台 サイドスポットライト32台 シーリングスポットライト40台 反射板天板ライト一式
			大ホールDセット	1組	22,840円	サスペンションライト53台 サイドスポットライト36台 シーリングスポットライト32台 ステージスポットライト12台 アッパーホリゾンライト1列 ロアーホリゾンライト1列
			小ホールAセット	1組	4,790円	ボーダーライト2列 サイドスポットライト8台 シーリングスポットライト16台
			小ホールBセット	1組	9,060円	ボーダーライト2列 サスペンションライト24台 サイドスポットライト8台 シーリングスポットライト16台
			小ホールCセット	1組	12,040円	サイドスポットライト32台 シーリングスポットライト40台 反射板天板ライト一式
			小ホールDセット	1組	19,100円	サスペンションライト48台 サイドスポットライト32台 シーリングスポットライト32台 ステージスポットライト8台 アッパーホリゾンライト1列 ロアーホリゾンライト1列
その 他 設 備	スモークマシン	1台	840円			
	ドライアイスマシン	1台	840円			
音 響 関 係 設 備	ホ ー ル 音 響 設 備	大ホール拡声装置	一式	4,650円	ダイナミックマイク1個を含む。	
		小ホール拡声装置	一式	2,770円	ダイナミックマイク1個を含む。	
		ダイナミックマイク	1個	840円		
		コンデンサーマイク	1個	1,270円		
		ワイヤレスマイク装置	1チャンネル	1,800円		
		可搬式テープレコーダー	1台	930円		
		コンパクトディスクレコーダー	1台	1,150円		
		コンパクトディスクプレーヤー	1台	1,170円		
		ミニディスクプレーヤー	1台	1,220円		
		デジタルオーディオテープレコーダー	1台	1,390円		
		リバーブ	1台	1,590円		
		ディレイ	1台	1,510円		
		ノイズゲート	1台	830円		
		エフェクトプロセッサー	1台	1,380円		
		ステージスピーカー	1台	1,270円	パワーアンプ1台を含む。	
		移動式音響調整卓	1台	2,200円		
		マイクスタンド(床上)	1個	300円	センターの設備を使用しない場合に限る。	
		マイクスタンド(卓上)	1個	150円	センターの設備を使用しない場合に限る。	
3点吊りマイク装置	一式	1,140円				
音響関係回路	1回路	100円	センターの設備を使用しない場合に限る。			

楽 器	フルコンサートピアノ(A)	1台	10,670円	
	フルコンサートピアノ(B)	1台	5,960円	
	グランドピアノ	1台	3,510円	
	アップライトピアノ	1台	1,620円	
	電子ピアノ	1台	1,030円	
	ギターアンプ	1台	510円	
	ベースアンプ	1台	460円	
	ドラムセット	1台	460円	
	大太鼓	1台	840円	
	バスドラム	1台	360円	
	ティンパニー (A)	1台	410円	
	ティンパニー (B)	1台	410円	
	ティンパニー (C)	1台	460円	
	ティンパニー (D)	1台	460円	
	演奏者用椅子	1脚	150円	
	ピアノ用椅子	1脚	150円	
	チェロ用椅子	1脚	150円	
	コントラバス用椅子	1脚	250円	
映写設備	映像収録装置	1台	8,160円	
	ビデオカメラ	1台	1,560円	
	ビデオテープレコーダー(A)	1台	1,250円	
	ビデオテープレコーダー(B)	1台	950円	
	DVDプレーヤー	1台	620円	
	DVDレコーダー	1台	620円	
	ビデオプロジェクター(A)	1台	12,560円	
	ビデオプロジェクター(B)	1台	4,080円	
	ビデオプロジェクター(C)	1台	1,610円	
	スライドプロジェクター(A)	1台	1,270円	
	スライドプロジェクター(B)	1台	790円	
映写設備	簡易オーバーヘッドプロジェクター	1台	940円	
	書画カメラ	1台	1,560円	
	35ミリ映写機	1台	11,000円	
	スクリーン (A)	1台	590円	
	スクリーン (B)	1台	410円	
	レーザーポインター	1台	200円	
同時通訳設備	大ホール	一式	4,320円	
	小ホール	一式	4,320円	
その他設備機器	バレエバー	1本	200円	
	バレエ用シート	1枚	510円	
	姿見	1台	200円	
	PAテーブル	1台	360円	
	展示用パネル	1枚	100円	
	折り畳み机	1脚	150円	
	スタッキングいす	1脚	60円	
	シャワー設備	1室	510円	
	電気洗濯機及び乾燥機	一式	680円	
	電気アイロン	1台	100円	
	コンセント (A)	1個	250円	センターの設備を使用しない場合に限る。
	コンセント (B)	1個	100円	センターの設備を使用しない場合に限る。

様式第1号（第2条関係）

## 指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

## 記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

(団体にあっては、主たる事務所の所在地)

申請者 氏名

(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

(自宅及び勤務先)

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日 ( ) 曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 ( )		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計	円		円

(注) ※印欄は、記載しないでください。

## 施設概要

## ■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号  
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月  
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所  
 [構造設計] 空間工学研究所  
 [設備設計] 明野設備研究所  
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡  
 [建築面積] 13,887.00㎡  
 [延床面積] 19,199.6㎡  
 1階：13,165.30㎡、2階：2,988.68㎡  
 地下1階：3,045.66㎡  
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）  
 [容積率] 52.6%（許容：200%）  
 [用途] 美術館・劇場  
 [規模] 地上2階 地下1階  
 [最高高さ] 32.24m  
 [構造] RC造、一部PC、S造

## [設備]

- 空調設備、空調方式  
 ホール・美術館：単一ダクト方式  
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式  
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源  
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、  
 空冷ヒートポンプチラー方式  
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）  
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、  
 ボイラー方式
- 衛生設備  
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式  
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、  
 その他：局所式（電気温水器）  
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式  
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備  
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線  
 設備容量：6250kVA  
 契約電力：1500kVA  
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備  
 消火設備：全館スプリンクラー設備  
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）  
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備  
 （ハロンバンク登録）  
 補助散水栓  
 排煙：自然排煙、機械式排煙  
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、  
 非常用照明  
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター  
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・  
 砂濾過方式

## [施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：  
 施工＝益田窯業  
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ  
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）  
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：  
 施工＝協和タイル  
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ



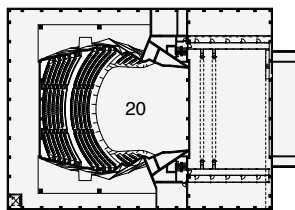
## 〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫3	94.9㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

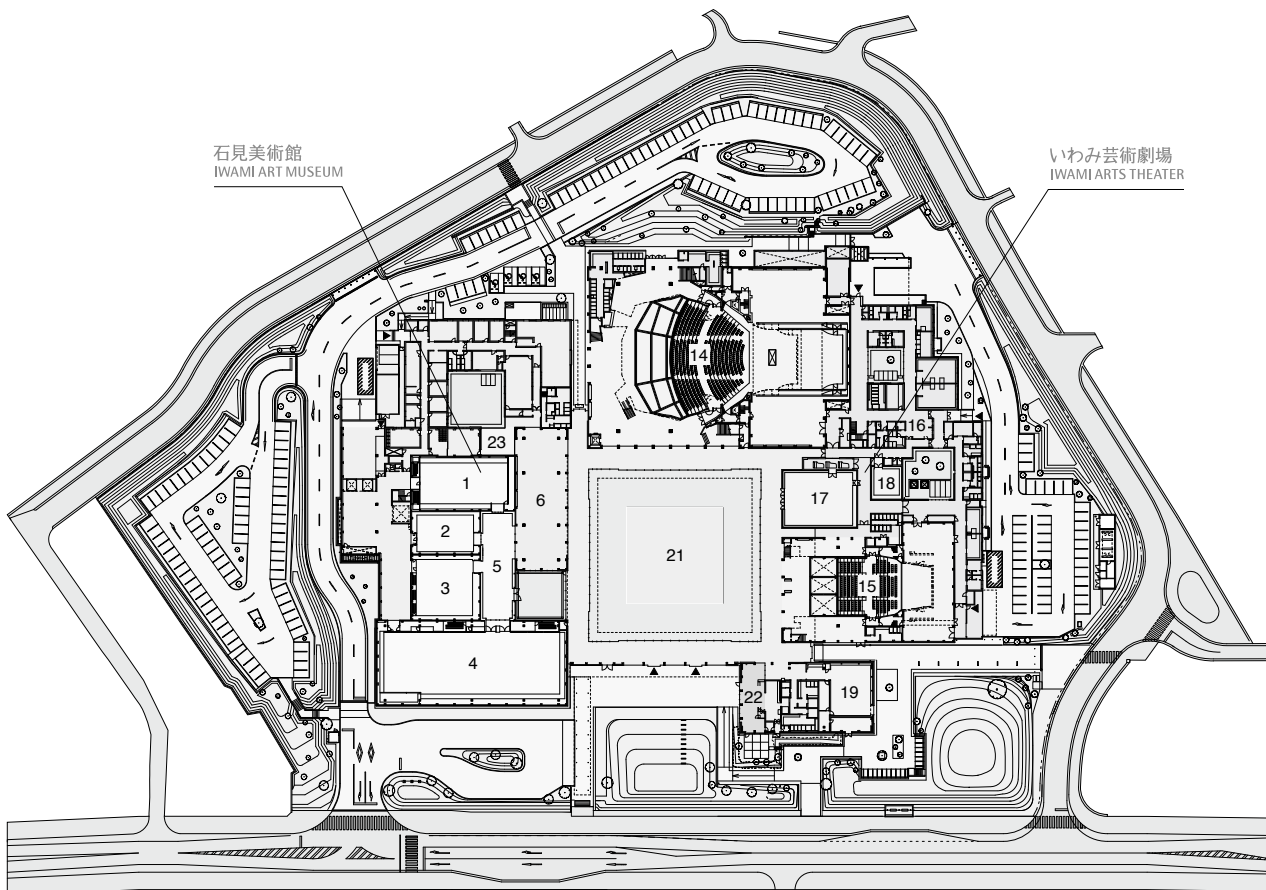
いわみ芸術劇場	
大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- 1: 展示室 A
- 2: 展示室 B
- 3: 展示室 C
- 4: 展示室 D
- 5: 展示前室
- 6: 美術館ロビー

いわみ芸術劇場

- 14: 大ホール
- 15: 小ホール
- 16: 楽屋
- 17: スタジオ 1
- 18: スタジオ 2
- 19: 多目的ギャラリー
- 20: 大ホール 2F 客席

- 21: 中庭広場
- 22: レストラン
- 23: ミュージアムショップ

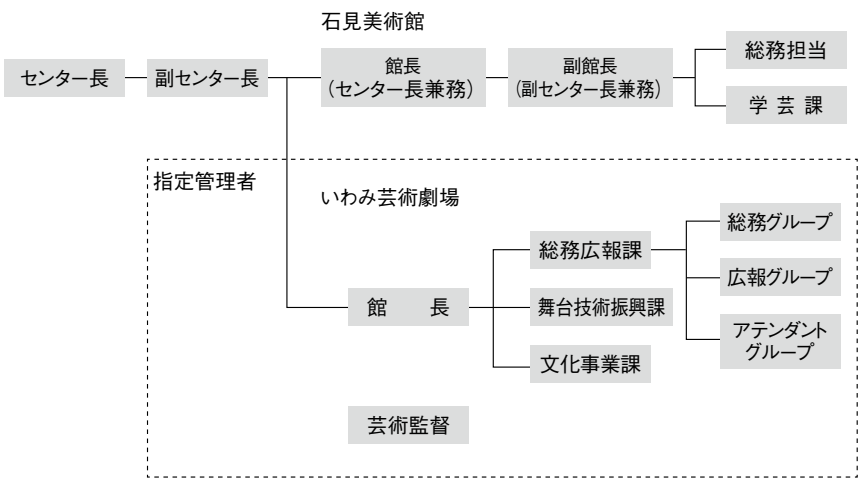
運営組織体制

施設名称  
 島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

**島根県芸術文化センター協議会**  
 協議会委員(12名)

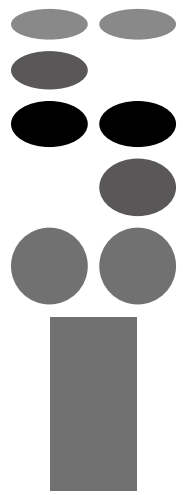
**島根県芸術文化センター**



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徒郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：9：30-18：00(展示室への入場は17：30まで)  
 いわみ芸術劇場：9：00-22：00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始  
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始  
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)  
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

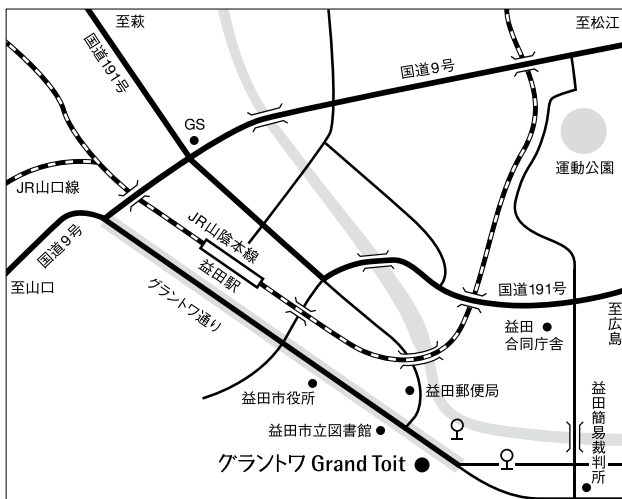
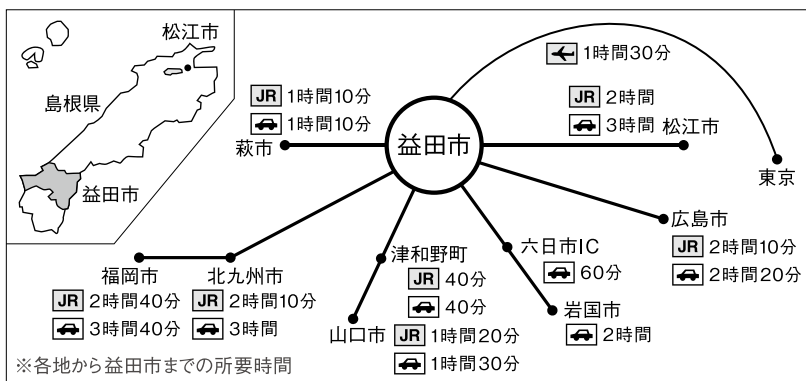
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料  
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円  
 \*( )内は20名以上の団体料金 \*企画展により料金が異なる場合あり  
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額。  
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)  
 ・各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(240台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



令和6年12月25日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : [grandtoit@cul-shimane.jp](mailto:grandtoit@cul-shimane.jp) <https://www.grandtoit.jp>







島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM